ROYAL ENFIELD OWNER'S MANUAL

ROYAL ENFIELD

METEOR 350

JAPANESE

はじめに

ようこそ、クルーザーの世界へ。

Royal Enfield におけるライディングは、まさにあるべき姿、つまり、簡単です。

Meteor 350 は一つのシンプルな信念のもとに作られています。クルーザーは地平線を追い求め、ライダーには家を出ること以外何も求めない、という信念。Meteor 350 はお客様のリズムに難なく寄り添います。走りのペースはお客様次第。すべてのツーリングが冒険である必要はありません —— もちろん、望むなら話は別です。

リラックスできるライディングトライアングルと、粘り強さとパワフルさを併せ持つ 349 cc 空冷エンジンを誇る Meteor 350 は完璧に調整されており、市街地の交通を巧みに走破する時も広々とした道路走る時も、快適に、かつ自信をもって走行できます。

このマニュアルは、車両を正しく操作およびメンテナンスするための情報を提供します。Meteor 350 の乗り心地を常に最高の状態に保つために、適切なタイミングで最寄りの認定サービスセンターのサービスをご利用ください。乗車前に、このマニュアルに記載されている保証条件やその他の役立つ情報を必ずご一読ください。

さあ、出発しましょう！

注意事項

本マニュアルの情報はすべて、発行時点で入手可能な最新の製品情報に基づいています。継続的な改良により、本マニュアルに記載されている情報とお客様の車両に関する情報には相違が生じる場合があります。
最新の仕様、機能などについては、必ずRoyal Enfieldの正規販売店にお問い合わせください。Royal Enfieldは、予告なしにいつでも生産変更を行う権利を留保し、以前に製造または販売された車両に同一または同様の変更を行う義務を負いません。表示されているすべての画像は説明のための参照目的で提供しており、お客様が所有しているモデルと完全に一致しない場合があります。アクセサリーや機能は標準装備の一部ではない場合があります。技術仕様は、Royal Enfieldの単独の裁量により予告なく変更される場合があります。
シートや板金部品を分解・組み立てる際、鋭利なエッジがあると怪我をする可能性がありますので注意してください。
「© Copyright 2026 Royal Enfield (Eicher Motors Ltd. の一部門) 無断転載を禁じます。本マニュアルのいかなる部分も、Royal Enfieldからの書面による明示的な許可なしに、コピー、配布、またはその他の方法で使用することはできません。」

免責事項

1. 車両のマット仕上げの塗装面を磨かないでください。磨くと光沢度が増します。
2. 塗装された部品は真水でのみ洗い、強力な溶剤、洗浄剤、石鹸は使用しないでください。
3. マット仕上げ部分の傷は補修・修正・除去できません。
4. 車両のマット仕上げの塗装部分には保証が適用されません。

注記

■ 本車両はEuro5+ 規格に適合しています。

Part No. RAM01559/A / 18th May 2026

目次

安全に関する定義 4
個人情報および車両情報 5
安全運転のヒント / ガイドライン 6
交通ルール 10
アクセサリーと荷物 12
技術仕様 14
推奨潤滑剤 19
車両識別番号 20
主要部品の位置 21
操作方法 24
警告表示と安全システム 52
運転前点検 56
慣らし運転期間 57
始動 58
ギアシフト、運転、停止 62
駐車 65
ツールキット 67
簡単なメンテナンスのコツ 68
長距離走行の注意事項 106
リアサスペンションの設定 107
清掃手順 109
保管上の注意 111
トラブルシューティング 112
環境保護 114
定期メンテナンス 115
一般保証規約 121
ボーダーレス保証規約 128
お客様の責任 130
責任の制限 130
排出ガス制御システムの保証 131
燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証 136
無線設備型式認証 137
整備 / メンテナンス記録 138
配線図 139
注記 140

安全に関する定義

見出し付きの情報：警告、注意、注記は、運転者自身の安全と、車両、そして他の人々への配慮と安全のためのものです。これらの項目をよくお読みください。従わない場合、ご自身や他の方の怪我や、車両の損傷につながるおそれがあります。



警告

潜在的に危険な状況を示します。このメッセージを無視すると、運転者または他の人が負傷するおそれがあります。

注意

このメッセージを無視すると、車両が損傷するおそれがあります。

注記

理解を深めるために重要かつ役立つメッセージを示します。

個人情報および車両情報

名前											
番地											
市区町村											
都道府県								国			
連絡先番号	自宅：							会社：			
	携帯：							メールアドレス：			
免許証番号								有効期限：			
モデル								色：			
エンジン番号											
車台番号											
タイヤメーカー	フロント：							リア：			
タイヤ番号	フロント：							リア：			
バッテリーメーカー								バッテリー番号			
販売元											
販売日											

安全運転のヒント /ガ イドライン

- 新しい車両を運転する前に、ご自身の安全、車両と他の人々の安全のために、本マニュアルに記載されている操作およびメンテナンスに関する指示をよく読み、従ってください。
- 運転する国の道路交通法を遵守してください。
- 車両を始動する前に、ブレーキ、クラッチ、ギアシフター、ハンドルバーコントロール、タイヤの空気圧、燃料およびオイルレベルなどが正しく作動しているか確認してください。
- 純正の Royal Enfield スペアパーツおよび承認されたアクセサリーのみを使用してください。他社製の部品を使用すると車両の性能に影響が出る可能性があり、また、車両の保証が無効になるおそれがあります。詳細については、Royal Enfield 認定サービスセンターにお問い合わせください。
- 車両に燃料を補給する時は、常に最大限の注意を払い、以下のガイドラインを厳守してください。
  - ★ 携帯電話やその他の携帯型電子機器の電源を「OFF」にします。
  - ★ 燃料システムに給油したり整備を行ったりする際は、喫煙しないでください。また、車両の近くに火気や火花がないことを確認してください。
  - ★ 換気の良い場所で、エンジンを切った状態で給油してください。
  - ★ 燃料タンクのキャップをゆっくり開けます。
  - ★ タンクの縁まで燃料を入れないでください。燃料をスプラッシュガードプレートの底まで注ぎ、燃料の膨張を考慮して、燃料タンク内に十分な空間を残してください。

安全運転のヒント /ガ イドライン

⚠ 警告

Royal Enfield は、アフターマーケット商品やカスタムメイドの延長フロントフォークやサスペンションなど、性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のある、特定の非標準パーツを使用しないよう警告しています。純正部品を取り外したり改造したりすると、性能に悪影響を与え、事故につながる可能性があります。

- 新しい車両は、特別な慣らし運転手順に従って運転する必要があります。各章に記載されている慣らし運転手順を参照してください。
- あらゆるコンディションでの車両操作と操縦特性に十分慣れるまでは、交通のない場所で、控えめなスピードにて運転をしてください。
- 法定速度を超えたり、現在のコンディションに対して速すぎる速度で走行しないでください。走行条件が悪い場合は必ず速度を落としてください。速度が上がると、安定性に影響を与える他の条件の影響が大きくなり、制御を失う可能性が高くなります。

注記

経験の浅い運転者の場合は、正しい車両の運転技術に関する正式なトレーニングを受け、所有する車両の操作に十分慣れることをお勧めします。運転者が初心者の場合は、適度な速度で運転しながら、さまざまな状況下で経験を積む必要があります。

路面や風の状況には十分注意してください。どの車両でも、以下のような転倒要因の影響を受けるおそれがあります。

- ★ 通過する車両から来る突風。
- ★ 荒れた路面やでこぼこした路面。

★ 滑りやすい路面。

これらの力は、車両の操縦特性に影響を及ぼす可能性があります。影響が出ている時は、車両の速度を制御可能な状態まで落としてください。急ブレーキをかけないでください。

■ 車両を慎重に運転してください。事故の際に、車両は自動車と同等の保護性能はないことにご留意ください。よくある事故状況の 1 つが、他の車両のドライバーが車両を見落とす、または認識できずに、対向する車両の進路に入ってしまう場合です。

■ 車両の運転に適した、認証されたヘルメット、衣服、履物を着用してください。明るい色や淡い色は、特に夜間の交通状況で視認性を高めるのに最適です。ゆったりとした、風になびくような衣服やスカーフは着用しないでください。

■ 同乗者を乗せる場合は、運転者が同乗者に対して適切な乗車手順を指導する責任があります。

■ いかなる状況においても、他の人が経験豊富で免許証を持ち、あなたの車両の運転条件を十分理解していることが確実でない限り、車両を運転させないでください。

警告

■ 定期的にショックアブソーバーとフロントフォークを点検し、漏れがないか確認してください。摩耗した部品を交換してください。摩耗した部品は、安定性とハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があります。

■ 排気ガスには、がん、先天性欠損症、その他の生殖障害を引き起こすことが知られている有毒な一酸化炭素や化学物質が含まれています。

■ お客様の安全を守るため、記載されているすべての整備およびメンテナンスの推奨事項を必ず実施してください。推奨された間隔で定期的なメンテナンスを行わないと、車両の安全性、耐久性、寿命に悪影響を及ぼすおそれがあります。

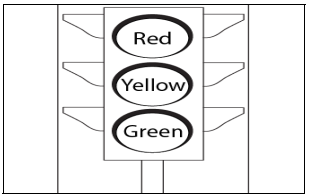
安全運転のヒント /ガイドライン

- 高温の時は、排気システムに触れないでください。乗車中は足を完全に覆う衣服を着用してください。排気システムは、エンジンの作動中は非常に高温になり、エンジンを切った後でも触れられないほど熱い状態になっています。適切な衣服や保護服を着用しないと、重傷を負う危険があります。
- 車両のバッテリーには、がん、先天性欠損症、その他の生殖障害を引き起こすことが知られている鉛、酸、化学物質が含まれています。バッテリーを取り扱う際は細心の注意を払い、バッテリーを取り扱うたびに手をよく洗ってください。
- 車両の操作中に生じた質問や問題については、Royal Enfield 認定サービスセンターにご相談ください。そうしない場合、初期の問題が悪化して高額な修理が必要となり、ご自身の安全が危険にさらされる可能性があります。
- 車両を牽引しないでください。牽引ロープの力により、牽引されている車両の操舵性とハンドリングが損なわれます。車両を輸送する必要がある場合は、トラックまたはトレーラーを使用してください。
- 車両の後ろにトレーラーを引かないでください。トレーラーを牽引すると、ブレーキ効率が低下し、タイヤに過負荷がかかり、ハンドリングが不安定になる可能性があります。またこれにより、前にある車両が制御不能になり、事故につながるおそれがあります。

交通ルール

- ナンバープレートを法律で定められた位置に取り付け、常に明瞭に見えていることを確認してください。
- 走行する路面の状態に応じて安全な速度で走行してください。次のような路面を走行する際は、十分に注意してください：
  - ★ 埃っぽい
  - ★ 油っぽい
  - ★ 凍っている
  - ★ 濡れている
  - ★ 砂っぽい
- 車両の安定性を妨げうるような葉、滑りやすい物質、砂利などが散乱している場合は注意してください。
- 対向車がいる時は、道路のセンターラインの正しい側を走行してください。
- 同じ進路方向で走行する他の車両を追い越す時は方向指示器を作動させ、注意を払ってください。交差点やカーブ、または坂道を上る時や下る時には、同じ進路方向の他の車両を追い越そうとしないでください。
- 交差点では、左側または右側の車両に優先権を譲ってください。自分が優先権を持っていると思い込まないでください。
- 停止、方向転換、追い越しをする時は、お住まいの国の道路交通法を遵守してください。右折または左折する時は、歩行者、動物、および他の車両に注意してください。
- 交差点の手動制御を含むすべての交通標識に速やかに従う必要があります。学校の近くの交通標識や踏切の注意標識では速度を落としてください。
- 曲がろうとする時は、曲がる地点に到達する少なくとも 100 フィート (30.5 m) 前に方向指示器を出してください。センターラインに近づき (現地の規則で別途定められている場合を除く)、速度を落とし、慎重に曲がってください。
- 決して信号を無視しないでください。交差点で進行から停止 (またはその逆) への変更が差し迫っている場合は、速度を落とし、信号が青に変わるまで待ちます。黄色または赤の信号を無視しないでください。

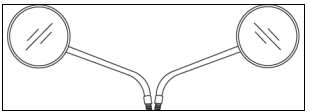
交通ルール



- 方向指示器を出さずに、縁石から離れたり、駐車場から出ないでください。交通量が多い所に進入する際は、進行方向に妨げるものがないことを確認してください。走行中の車線には常に優先権があります。
- 車両を駐車する際は、転倒を防止するため、固い平坦な地面に駐車してください。
- 車両を盗難から守りましょう。車両を駐車した後は、ステアリングヘッドがロックされていることを確認し、イグニッションキーを抜きます。

サイドビューミラー

お客様の車両には、曲面を持つ凸面ミラーが装備されています。



このタイプのミラーは、通常の平面ミラーよりもはるかに広い後方視野を提供するように設計されています。ただし、このタイプのミラーで見る車両やその他の物体は、平面のミラーで見る時よりも小さく、遠くに見えます。
このミラーに映る車両や物体の大きさや距離を判断する時は注意してください。サイドミラーを緩め、調整するにはツールキットに含まれているツールを使用します。

注記

ミラーを通してご自身の車両後方にある車両や物体との相対的な距離を測るには、運転姿勢を基準にして、肩の一部が見える程度、車両後方の大部分がはっきりと見えるようにミラーを調整します。

アクセサリーと荷物

Royal Enfieldは、車両とともに徹底的にテストされ、完全に認証された純正車両アクセサリーを幅広く取り揃えています。
したがって、アクセサリーを取り付けたり、追加の重量物を運ぶ場合、運転者は車両の安全な操作に責任を持たなければなりません。
同乗者を載せたり荷物を積載したりする場合、またはアクセサリーを取り付ける場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 単独走行時、同乗者を乗せている時、またはアクセサリーを装備した車両に荷物を積載している時は、110 km/h (68.3 mph) を超えないようにしてください。
- 荷物の重量を車両の近く、できるだけ低い所に集中させてください。これにより、車両の重心の急激な変化が最小限に抑えられます。
- 重量は、車両の両側に均等に分散させてください。
- 運転者の後ろにかさばる荷物を積んだり、ハンドルバーやフロントフォークに重量を加えたりしないでください。
- 定期的に荷物を再確認し、荷物がしっかりと固定されていて走行中に動かないことを確認してください。アクセサリーが緩く取り付けられていると、車両の走行状態、車両のハンドリングや安定性に影響を及ぼす可能性があります。
- フェアリング、フロントガラス、背もたれ、荷物ラックなどの大きな表面は、車両のハンドリングに悪影響を及ぼす可能性があります。該当モデル固有の Royal Enfield 純正車両アクセサリーのみを使用し、取付手順に従ってください。

アクセサリーと荷物

警告

- 車両に不適切なやり方で重量物を積んだり、アクセサリーを取り付けないでください。これを行うと、車両の安定性、ハンドリング特性、安全な操作に影響を及ぼして事故を引き起こし、重大な傷害や死亡につながるおそれがあります。
- Royal Enfield は、車両とともに徹底的にテストされ、完全に認証された純正車両アクセサリーを幅広く取り揃えています。
- Royal Enfield は、車両の性能やハンドリングに悪影響を及ぼす可能性のあるアフターマーケット商品や特注の延長フロントフォークなど、非標準パーツを使用することは控えるよう警告しています。純正部品を取り外したり改造したりすると、車両の性能に悪影響を与え、事故を引き起こし、重大な傷害や死亡につながる可能性があります。
- モデル/設計仕様を無視しないでください。無視すると、車両とアクセサリーの両方を誤用することになり、車両のハンドリングと性能に悪影響を与えて事故を引き起こし、重大な傷害や死亡につながる可能性があります。

技術仕様

エンジン

エンジンタイプ	単気筒
ボア	72 mm
ストローク	85.8 mm
エンジン排気量	349.34 cc
圧縮比	9.5:1
最高出力	14.87 kW @ 6100 rpm
最大トルク	27 Nm @ 4000 rpm
アイドリング回転数 ...	1050 ± 100 rpm
始動方式	電気始動
エアクリーナー	ペーパーエレメント

点火システム

点火方式	ECU 制御 (ECU マップ番号付き)
スパークプラグ	YR7MES / M12 Bosch RER6YCA / M12 Champion
スパークプラグギャップ ..	0.7 〜 0.8 mm

技術仕様

トランスミッション

クラッチ.....	湿式多板 (アシスト&スリッパー) クラッチ
プライマリドライブ...	ギア
一次比.....	2.313:1
ギアボックス.....	5速コンスタントメッシュ
ギア比.....	1速 2.615:1 2速 1.706:1 3速 1.300:1 4速 1.040:1 5速 0.875:1
ファイナルドライブ...	チェーン
二次スプロケット比...	2.800:1
ドライブチェーンリンク ..	104 リンク

シャシー

フレーム.....	ツインダウンチューブスパインフレーム
サスペンション	
フロント.....	テレスコピック、41 mm フォーク、130 mm トラベル
リア.....	ツインチューブエマルジョンショックアブソーバー(6段階調整式プリロード付き)、90 mm トラベル
ブレーキ	
フロントディスク...	300 mmディスク、2ピストンフローティングキャリパー付き
リアディスク.....	270 mmディスク、シングルピストンフローティングキャリパー付き
ABS.....	デュアルチャンネル

技術仕様

タイヤサイズ

タイヤの種類	標準タイヤ
フロント（スポークおよびアルミホイール）	100 / 90-19 M/C 57P
リア（スポークおよびアルミホイール）	140 / 70-17 M/C 66P

タイヤ空気圧

タイヤの種類	1名乗車	2名乗車
フロント	32 psi	32 psi
リア	32 psi	36 psi

注記

■ チューブタイプのリムには、チューブ入りタイヤを取り付けます。

■ チューブレスタイプのリムには、チューブレスタイプのタイヤのみを使用してください。

ステアリングロック ... イグニッションロックと一体化

燃料タイプ ..... 無鉛ハイオクガソリン

燃料タンク容量 ..... 15 ± 0.5* L

燃料残量警告 ..... 5 ± 0.5*L（予備燃料を含む）

予備燃料量 ..... 950 ± 50 ml

* 上記の値は概算であり、実際の給油容量は記載された値と異なります。

技術仕様

電気系統

発電	オルタネーター（ACG）
バッテリー	12 V - 8 Ah VRLA
スターターモーター	12 V - 0.7 kW
ヘッドランプ	12 V LED、22.5 W / 15.6 W
ポジションランプ	12 V LED、2.6 W
ブレーキ/テールランプ	12 V、LED タイプ 2.4 W/1.2 W
インストルメントクラスター	メイン LCD 付デジタルクラスター
方向指示器	12 V LED、1.7 W * 2 個
ハザード警告	12 V LED 1.7 W * 4 個
ホーン	シングルトーン - K95- 2.5 A
充電ポート	Type-C 急速充電器（モバイル機器の要求に応じて 5 V/9 V、3 A）

警告

指定された定格以外の電球 / その他の電気機器を使用すると、電気システムの過負荷 / 不安定な動作 / 早期故障につながる可能性があります。Royal Enfield によって承認されていない車両の改造は、保証の対象外となるだけでなく、車両の性能にも影響を与える可能性があります。

技術仕様

寸法

全長 ..... 2,120 mm

全幅 ..... 845 mm（ミラーなし）

ホイールベース ..... 1,400 mm

地上高 ..... 170 mm

全高 ..... 1. 1,140 mm（ミラーなし）

2. 1,310 mm（フロントガラスあり）

シート高 ..... 765 mm

重量

車両重量（燃料とオイルを 90% 搭載時）.... 191 kg

車両総重量 ..... 375 kg

注記

- 上記の値/寸法は参考としてのみご利用ください。
- 当社製品は継続的に改良されているため、仕様は予告なく変更される可能性があります。
- 車両の許容総重量を超える形で使用しないでください。サスペンションとタイヤは、最大車両総重量までのみ機能するように設計されています。

推奨潤滑剤

エンジンオイル		フロント フォークオイル	ブレーキフルード
グレード	SAE 15W 50 API SL グレード JASO MA2 セミシンセティック	Royal Enfield フォークオイル	DOT4*
容量	**リフィル：**1.7 L **ドライフィル：**2.2 L	453 cc/ 片側	**フロント**：87 ml **リア**：54 ml

注意

不適切なオイルグレードを使用すると、可動部品の寿命が短くなり、性能に重大な影響を及ぼします。
* DOT4 と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

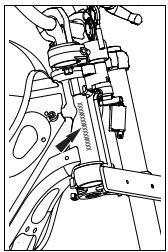
注記

1. 推奨事項は予告なく変更される場合があります。
2. 上記の値は概算であり、実際の容量は異なる場合があります。

車両識別番号

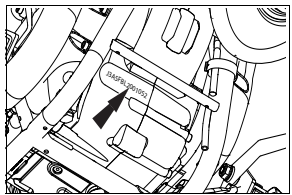
車台番号

車台番号は、右サイドのステアリングヘッドチューブにラベルの形で刻印された 17 桁の番号です。



エンジン番号

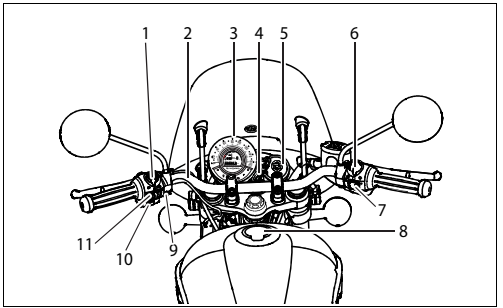
エンジンシリアル番号は、エンジンの識別および製造情報を示しています。エンジン番号はエンジンを識別する唯一の手段であるため、改ざんは違法です。



注意

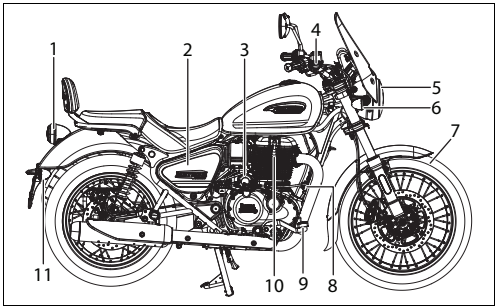
注意：車両の車体番号（VIN）/ エンジン番号を改ざんしたり変更したりすると、違法になるだけでなく、車両登録と保証が無効になります。

主要部品の位置



1. ハイビーム / ロービーム / フラッシュスイッチ
2. ハンドルバー
3. インストルメントクラスター
4. イグニッションキー
5. トリッパー（装着されている場合）
6. スタータースイッチ / キルスイッチ
7. ハザードスイッチ
8. 燃料タンクキャップ
9. 急速充電ポート
10. ホーンボタン
11. 方向指示器スイッチ

主要部品の位置

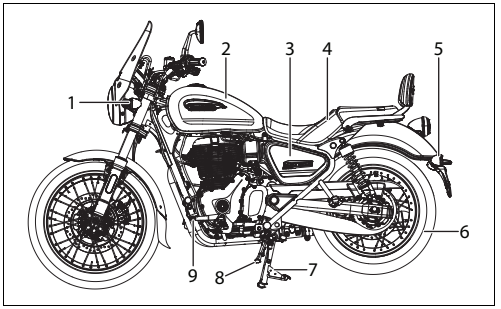


1. テールランプ
2. 右サイドパネル
3. スターターモーター
4. フロントブレーキレバー
5. ヘッドランプ
6. 右前方向指示器
7. フロントホイール
8. ホーン
9. ブレーキペダル
10. スパークプラグ
11. 右後方向指示器

免責事項

上に表示する右側ビューの部品は、あくまでも参考目的のものです。これらの部品は、選択する車両バリエーションによって異なります。

主要部品の位置



1. 左前方向指示器
2. 燃料タンク
3. 左サイドパネル
4. シート
5. 左後方向指示器
6. リアホイール
7. センタースタンド
8. サイドスタンド
9. ギアチェンジペダル

免責事項

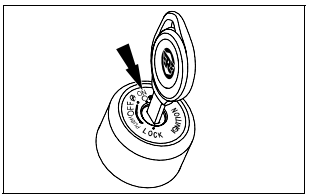
上に表示する左側ビューの部品は、あくまで参考目的です。これらの部品は、選択する車両バリエーションによって異なります。

操作方法

イグニッションキー

⊠ “OFF”

○ “ON”



注記

■ キーはイグニッションが OFF か、ステアリングがロックされている時にのみ抜くことができます。

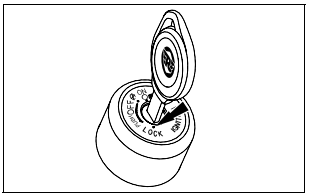
■ キーは、イグニッション、燃料タンクロック、ステアリングロック、右サイドパネルで共通です。
■ キーは、キースロットでロック位置にある場合にのみ、燃料タンクと右サイドパネルから抜くことができます。

警告

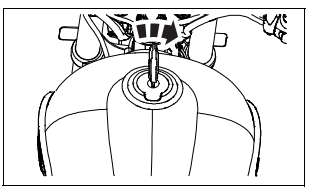
■ 車両の運転中はイグニッションスイッチを OFF にしないでください。
■ このような行為は、運転者および他の道路利用者に重傷を負わせる事故を引き起こすおそれがあるほか、車両自体にも深刻な損傷を与える原因となります。

ステアリングロック

■ ハンドルバーを一番左の位置まで回します。
■ キーを OFF の位置に押し込み、さらに反時計回りに回してステアリングシステムをロックします。
■ ステアリングロックを解除するには、キーを時計回りに回してください。



燃料タンクキャップ



■ 燃料タンクキャップのキーフラップを持ち上げてキーを挿入します。
■ キーを時計回りに回して開きます。
■ キーを所定の位置に置いた状態でキャップを押してロックします。
■ キャップからキーを抜いて、フラップを閉じます。

警告

■ 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。
■ 燃料はスプラッシュガードプレートの底以上に入れないでください。
■ 燃料を過剰に補給すると、燃料がEVAPキャニスターに入り、蒸発ガス排出システムが損傷するおそれがあります。

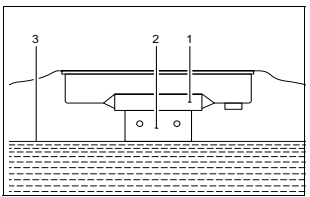
注意

■ ガソリン蒸気は非常に爆発性が高いため、燃料補給の際は近くに火気や火花がないことを確かめ、必ず換気の良い場所で給油してください。
■ 塗装面にガソリンがこぼれないように注意してください。燃料が塗装面にこぼれると、シミになり、取れなくなる可能性があるので、直ちに拭き取ってください。
■ 燃料補給中や燃料タンクのキャップが開いている時は喫煙しないでください。

操作方法

燃料充填レベル

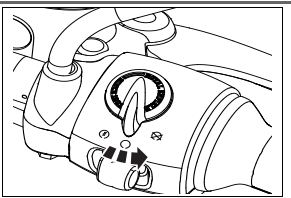
1. 燃料注入口カラー
2. スプラッシュガードプレート
3. 最大燃料レベル



イグニッション /エ ンジンキルスイッチ

"OFF"

"ON"

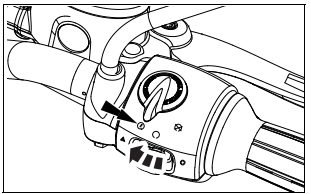


注意

■ 車両を長時間停止する場合は、バッテリーの放電を防ぐため、イグニッションキーをオフにしてください。

スタータースイッチ

エンジンが始動するまで、スタータースイッチを最長 5 秒間長押しします。



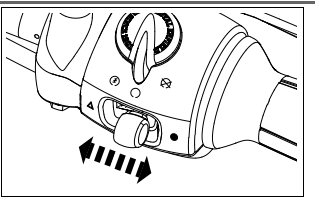
ハザードライトスイッチ

⚠ "ON"

● "OFF"

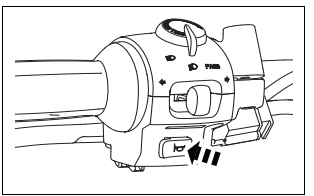
警告

- ハザードライトスイッチが「ON」の時は、方向指示器は作動しません。
- すべての方向指示器灯が同時に点滅します。



ホーン

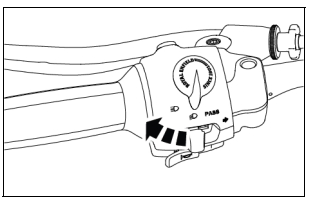
ホーンボタンを押すと、ホーンが鳴ります。



操作方法

ハイビーム /ロ ービームスイッチ

■ ヘッドランプが「ON」の状態で、スイッチを切り替えることでハイビーム / ロービームを選択します。ハイビームを選択すると、インストルメントクラスターにあるハイビームインジケーターが点灯します。



ハイビーム

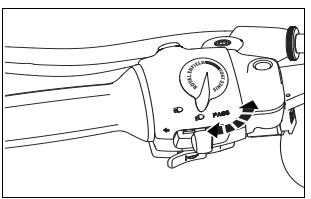
ロービーム

警告

■ 安全のため、また他の運転者への迷惑にならないよう、交通状況や道路状況に応じて適切にハイ / ローヘッドランプビームを使用してください。

フラッシュスイッチ

■ スイッチを押している間、ハイビームが点灯します。



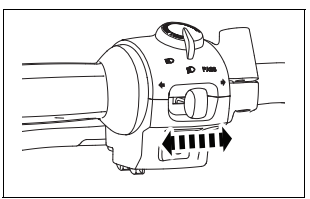
■ スイッチを押すとヘッドライトのハイビームフィラメントが作動します。これは追い越し時に反対側から来る車両に合図を出すものです。

方向指示器スイッチ

⇦ 左方向指示器「ON」

⇧ 「OFF」(押すとキャンセル)

⇨ 右方向指示器「ON」

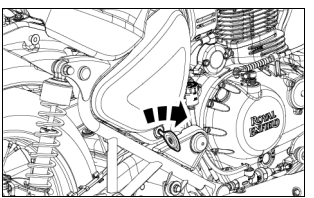


■ 必要に応じて、方向転換する前にボタンを「OFF」位置から左または右に押します。方向指示器灯を消すには、センター位置に戻した後にスイッチを押し込みます。

右サイドパネル

■ キーを時計回りに回して右サイドパネルのロックを解除します。

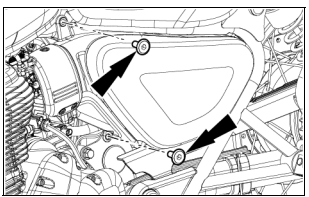
■ 右サイドパネルをゆっくりと開きます。



操作方法

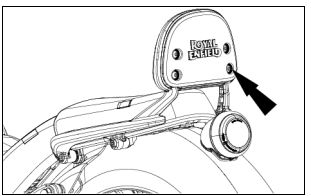
左サイドパネル

- 左サイドパネルにアクセスするには、5 mm 六角レンチを使用してボタンヘッドネジ 2 本を緩めて取り外します。
- カバーを左側にスライドさせて、手前に引き出します。

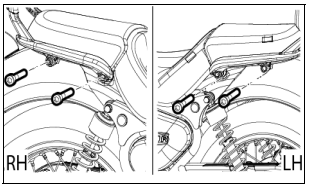


タンデムシートとライダーシートの取り外し

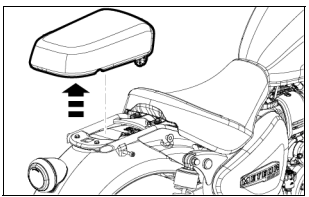
- 5 mm 六角レンチを使用して、バックレスト後方から六角穴付ボルト 4 本を緩めて取り外します。
- バックレストパッドをバックレスト後方のサポートパッドとともに取り外します。



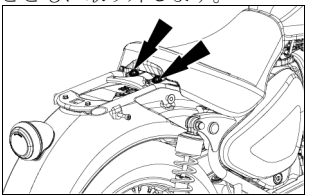
- ツールキットに含まれている 6 mm 六角レンチを使用して、タンデムシート下の六角穴付ボルト 4 本を緩めて取り外します。



■ 左側および右側のグラブレールを取り外します。タンデムシートをゆっくりと横に引き寄せ、取り外します。



■ 10 mm のソケットおよびラチェットを使用して、六角フランジボルト 2 本をスペーサーおよびグロメットとともに取り外します。



■ ライダーシートを車両の後方からゆっくりと持ち上げて引きます。

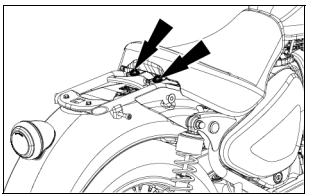
注記

■ 取り外したシートはひっかき傷や汚れが付かないように、安全な場所に置いてください。

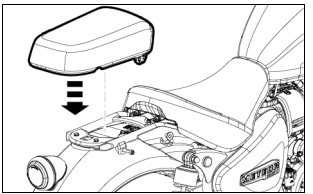
操作方法

タンデムシートとライダーシートの組み立て

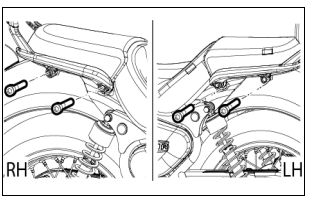
■ ライダーシートの取付穴がフレームと揃っていることを確認します。



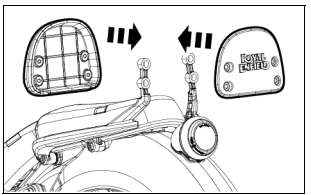
■ グロメットとスペーサーを溝の上に配置し、ボルトを差し込んで締めます。



■ タンデムシートをフレーム上に横から引っ掛けて取り付けてください。

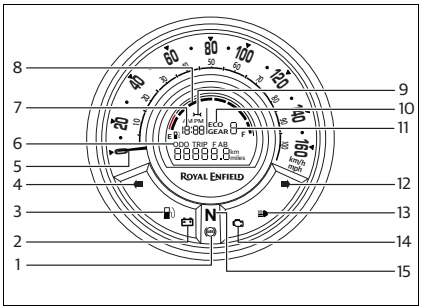


- 左右両方のグラブレールをタンデムシート上に配置し、穴が揃っていることを確認します。ボルトを差し込んで締めます。
- バックレストの前後のパッドを取付穴に揃えます。取り付けボルトを差し込んで締めます。



操作方法

インストルメントクラスター



1. ABS インジケーター
2. バッテリー低電圧インジケーター
3. 燃料残量インジケーター
4. 左折インジケーター
5. スピードメーターインジケーター
6. オドメーター / トリップメーター (A/B/F)
7. 時計
8. 燃料計
9. サービスリマインダー
10. エコモード
11. ギアインジケーター
12. 右折インジケーター
13. ハイビームインジケーター
14. エンジン故障インジケーター
15. ニュートラルインジケーター

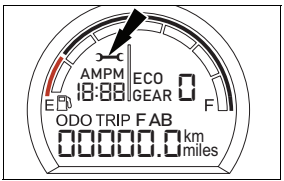
免責事項

太陽が頭上にある状況では、クラスターユニットの表示がはっきりと見えない場合があります。これは正常な現象であり、ユニットへの直射日光の影響により発生します。お客様は、他の走行条件も参照してください。

操作方法

サービスリマインダー

■ サービスリマインダーシンボルがオンになっている場合は、認定サービスセンターで定期点検を受けてください。



■ サービスリマインダーは、サービスの完了後にサービスセンターの認定スタッフのみがリセットできます。

■ オドメーターから入力された以下の距離に応じて、サービスリマインダーシンボルが点滅します。

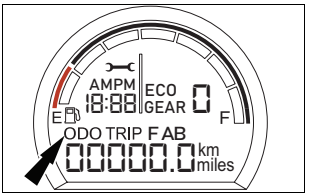
i) 初回の点検 - 450 km または 279.6 miles

ii) 2 回目の点検 - 4,900 km または 3044.7 miles

iii) その後、以前の値から 5,000 km ごと、または 3106.8 miles ごとに(例:9,900 kmまたは6151.5 miles、14,900 kmまたは9258.4 milesなど)

オドメーター

■ 車両が走行した累計キロメートルを表示します。



単位の切り替え

■ ギアをニュートラルモードに変更し、イグニッションスイッチを OFF にします。

■ INFO ボタンを押しながらイグニッションスイッチを ON にします。

■ イグニッションスイッチが ON の状態で、INFO ボタンを約 15 秒間長押しします。

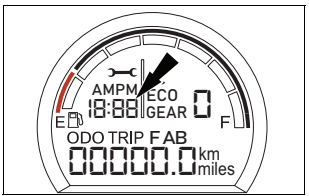
■ ODO の表示単位が miles から km に、またその逆に変わります。

操作方法

時計

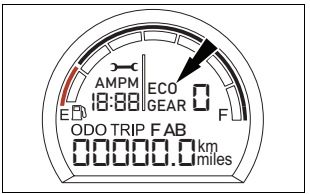
■ AM/PM 表示付きの 12 時間形式で表示されます。

■ バッテリーが取り外されると AM12 時にリセットされます。



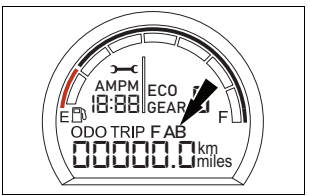
ECOモード

■ 車両が最適なエンジン回転数とギア比で走行している時、インストルメントクラスターに ECO インジケーターが表示されます。道路状況や積載量も考慮されることがあります。



TRIP A/B

■ Trip A/B は、特定のトリップで移動した距離を示します。



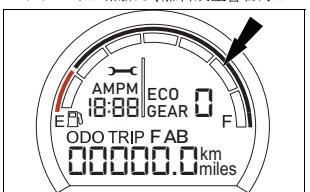
操作方法

警告

■ 車両の運転中は、絶対に INFO ボタンを操作しないでください。操作することで集中力が失われ、不安定な運転につながり、事故を引き起こすおそれがあります。こうした事故により、車両に重大な損傷が生じるだけでなく、運転者と他の道路利用者の両方が重傷を負うことになります。

燃料計

■ デジタル：7 セグメントのバーグラフ。燃料が不足した状態になると、最後のセグメントが点滅し、燃料残量警告灯が「ON」になります。



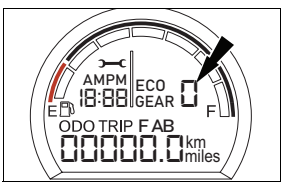
警告

■ 燃料表示の最後のセグメントが点滅している状態で、車両を長時間使用しないでください。早急に燃料を補給してください。

■ これを怠ると、車両の燃料がなくなり、立ち往生することになるだけでなく、燃料ポンプに深刻な損傷が発生します。

ギアポジション表示

■ 走行中の車両のギアポジションを表示します。

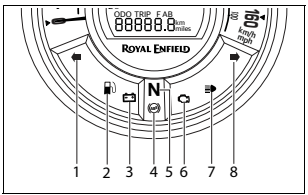


操作方法

■ ニュートラルの時は「0」と表示されます。
■ ギアが入っている時は、1 ～ 5 の数字が表示されます。

警告灯

■ **(1) 左折：**左方向指示器 ON。



■ **(2) 燃料低下表示：**燃料が不足した状態になると、最後のセグメントが点滅し、燃料残量警告灯が ON になります。
■ **(3) バッテリー残量低下表示:**イグニッションスイッチが ON でエンジンが作動していない場合、インジケーターは点灯し続けます。エンジンを始動するとインジケーターが消灯します。バッテリー電圧が 12 V を下回ると、バッテリー残量が少ないことを示すインジケーターが点灯し続けます。
■ **(4) ABS MIL** 初期点検時(車両が特定の距離 / 速度で走行するまで、または走行した後）は継続的に点灯し、システムに問題がなければ消灯します。ABS システムに不具合がある場合は再び点灯します。
■ **(5) ニュートラルインジケーター**トランスミッションはニュートラルです。
■ **(6) EMS 故障表示灯:**EMS に故障が発生した場合、継続して点灯します。
■ **(7) ハイビーム表示**ヘッドランプハイビームが ON。
■ **(8) 右折：**右方向指示器 ON。

注意

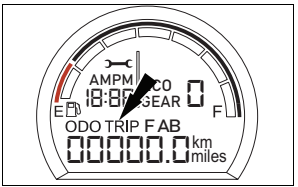
■ EMS 故障表示灯が継続して点灯している場合は、車両を走行させないでください。ECU およびセンサーに重大な損傷を与えるおそれがあります。最寄りの Royal Enfield 正規代理店にて、EMS の診断・修理を受けてください。
■ ABSインジケーターランプが点灯したままの場合は、車両を運転しないでください。

注記

エンジン始動後、警告灯は「オフ」になります。

TRIP「F」モード

■ 燃料残量警告灯が「ON」になった後の走行距離。



■ リセットできません。燃料不足状態が検知された場合にのみ表示され、燃料不足状態を上回る燃料が補給されると消えます。

■ この状態の間、INFO ボタンを使用して表示を切り替えることができますが、25 秒後に自動的に表示されます。これはスタンドスイッチと連動しており、サイドスタンド状態時のリセットを回避します。

■ Trip F の状態で 200 km 以上走行すると、「燃料不足」が LCD で連続的に点滅します。このような状態では燃料ポンプが損傷するため、車両に乗らないことをお勧めします。

TRIP「F」状態

■ Trip F は、キルスイッチが ON の時にのみ更新されます。

■ 予備レベル以上に燃料を充填すると Trip F が数分間表示され続けますが、これは正常な動作であり、誤った表示を回避するためです。

■ 中程度から荒れた道路状況での走行時には、燃料の変動が頻繁に発生するため、Trip F のリセットが発生します。この機能は、あくまで参考として、滑らかな路面でのみご使用ください。

■ Trip F は、サイドスタンドが格納された時のみ更新されます。

注記

■ 燃料表示は、悪路、上り坂、下り坂の状況によって変動します。正確な表示を確認するには、低速走行時や平坦な路面でご確認ください。

操作方法

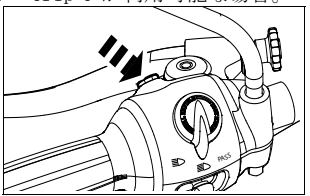
機能	スイッチ	押す時間（秒）	アクション
時計設定モード	INFO	INFO スイッチを 3 秒長押しして離す	イグニッションが ON で、現在の表示が ODO モード、速度入力（安全）がない状態で、INFO ボタンを指定時間押し続けると、時計設定モードに入る（時間が点滅）
	INFO	INFO スイッチを押して離す	時計の「時」が増える
	INFO	INFO スイッチを 3 秒間長押しして離す	「分」モードに入る（「分」が点滅）
	INFO	INFO スイッチを押して離す	時計の分数が増える
	INFO	INFO スイッチを 3 秒間長押しして離す	単位モードに入る（AM/PM が点滅）
	INFO	INFO スイッチを押して離す	AM と PM を切り替える
	INFO	INFO スイッチを 3 秒間長押しして離す	データを保存して時計設定モードを終了する

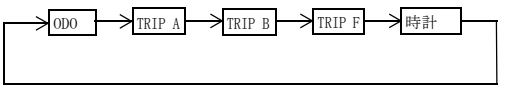
注記

時計設定機能で 20 秒以上操作が行われなかった場合は、最後に表示された値が表示されます。

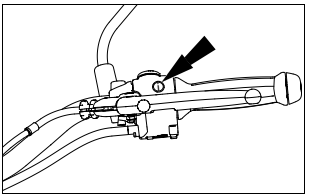
INFOボタン管理の詳細

■ LCD シーケンス（INFO スイッチを 1 秒未満プッシュ）:- Trip F が利用可能な場合。





■ Trip F が有効でない場合。



注記

■ トリップをリセットするには、INFOボタンを3秒以上押します。

操作方法

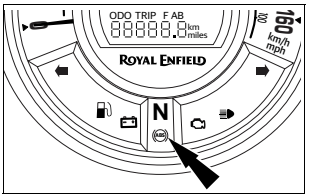
機能	スイッチ	押す時間（秒）	アクション
ODO	INFO	INFO スイッチを押して離す	イグニッションキーを「ON」にするとクラスターに ODO km が表示され、Trip A モードに入る
TRIP A	INFO	INFO スイッチを押して離す	Trip A 表示モードから Trip B モードに入る
	INFO	INFO スイッチを 3 秒間長押しして離す	Trip A km 値をリセット
TRIP B	INFO	INFO スイッチを押して離す	Trip B 表示モードから ODO/Trip F（有効な場合）モードに入る
	INFO	INFO スイッチを 3 秒間長押しして離す	Trip B km 値をリセット

注記

Trip A/Trip B - トリップメーターが 999.9 km、オドメーターが 99999.9 km になると、通知なしに自動的にゼロにリセットされます。

ABSイ ンジケーターランプ

■ イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチを「ON」にすると、ABS ランプが点灯し、車両が時速 5km に達するまで点灯したままとなり、その後消灯します。

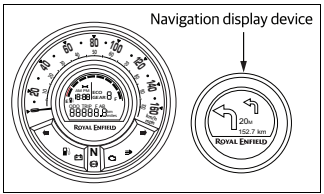


注意

■ ABS インジケーターランプが 5 km/h (3.1 mph) を超えて継続的に「ON」になっている場合は、車両を走行させないでください。

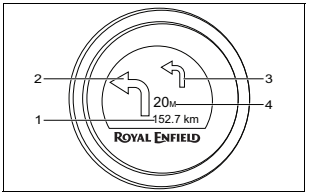
操作方法（装備されている場合）

トリッパー



- トリッパーは、車両上でターンバイターンナビゲーションを提供するために搭載されており、運転者がスマートフォンを操作することなく、手間をかけずに走行できるようにします。このデバイスは、Google マップにサポートされている RE モバイルアプリに基づくナビゲーション検索を備え、Bluetooth 接続で動作します。
- このデバイスは、運転しやすいように直感的にデザインされたユニークな矢印フォントを使用して、カスタムデザインされた丸型カラーTFT でターンバイターンナビゲーションを表示できます。
- 背景表示は、運転者が RE モバイルアプリから選択して、昼モードと夜モードを切り替えることができます。
- QR コードをスキャンしてダウンロード、インストール、登録し、トリッパーの詳細を確認してください。

操作方法（装備されている場合）



1. 目的地までの距離または ETA
2. 第 1 の進行方向または次の曲がり角
3. 第 2 の進行方向または次の次の曲がり角
4. 次の曲がり角までの距離

特徴：

■ 最初の曲がり角、次の曲がり角を表示するターンバイターンナビゲーション。

■ 次の曲がり角までの距離、目的地までの距離、または到着予定時刻（ETA）。

■ 時計の表示（接続がない場合、ナビゲーション入力がない場合、または目的地に到着した後）。

■ ユーザーは昼モードと夜モードを選択できます（RE モバイルアプリ経由でのみ）。

■ 携帯電話のバッテリー残量低下表示。

免責事項：

■ 太陽が頭上にある状況では、トリッパーユニットの表示がはっきりと見えない場合があります。これは正常な現象であり、ユニットへの直射日光の影響により発生します。その他の乗車条件の場合も参照してください。

操作方法（装備されている場合）

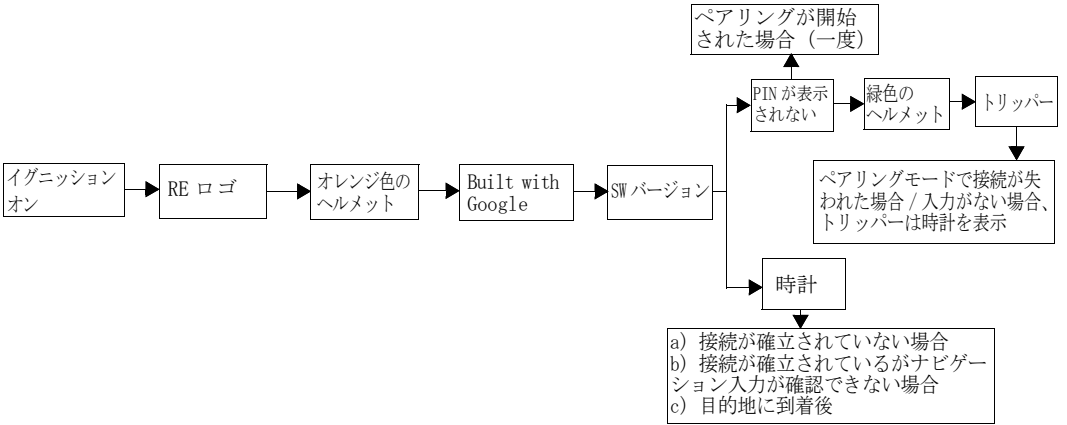
- 第1の進行方向または次の曲がり角。距離とともに次の曲がり角を示します。
- 次の曲がり角までの距離：次の曲がり角までの距離を表示します。
- 第2の進行方向または次の次の曲がり角:第1の進行方向の後に取る、次の曲がり角を示します。第1の曲がり角が100 m未満にある場合にのみ表示され、曲がり角がない場合、このエリアには何も表示されません。
- 目的地までの距離またはETA:目的地までの総距離または到着予定時刻（RE モバイルアプリで選択した内容に基づく）を表示します。

RE モバイルアプリをご利用いただけるスマートフォン対応バージョン：

- Android および iOS と互換性があります。
- Android サポート：現在のバージョン（-2)。
- iOS サポート：現在のバージョン（-1)。
- 接続コントロールはREモバイルアプリを通じてのみ行われます。

操作方法（装備されている場合）

トリッパー 表示フローシーケンス



操作方法（装備されている場合）

注記

- イグニッションを「ON」サイクルにするたびに、トリッパーは 120 秒間検出可能モードになります。
- 120 秒以内に接続が確立されない場合、時計モードになります。接続を再開するには、イグニッションの「オフ－オン」サイクルを繰り返します。
- ナビゲーションモード中にスマートフォンからの入力が 5 秒間ない場合、電力を消費しないよう Bluetooth 接続が終了し、トリッパーでは時計が表示されます。
- Bluetooth 接続は、エンドユーザーがモバイルアプリケーションを閉じることによっても終了できます。
- 初めてペアリングする場合、ユーザーは RE モバイルアプリを通じて、トリッパーに表示されるセキュリティ保護された PIN を入力してデバイスをセットアップする必要があります。その後、同じデバイスが接続されると、自動ペアリングが行われます。
- トリッパーがペアリングされるたびに時計の時刻がモバイルの時刻と同期され、その後は切断された場合でも内部時計で動作し続けます。インストルメントクラスターとトリッパーに表示される時間には時間差があります。必要に応じて、クラスターの時計設定モードのセクションで、トリッパーに表示される時間に合わせてクラスターの時計を更新する必要があります。
- インストルメントクラスターまたはトリッパーの清掃や拭き取りにガソリン / 石油系液体を塗布したり使用したりしないでください。永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

注意

- 接続を確立している間は、イグニッションが ON であり、ディスプレイに電源が入っていることを確認してください。
- クロス接続を回避するために、初回ペアリングは隔離された環境で行われるようにしてください（1 回）。

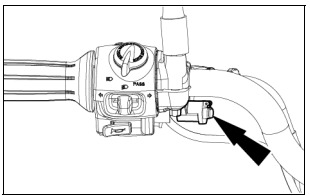
操作方法（装備されている場合）

- 昼と夜のモードはユーザーのみが選択できます。夜間の運転中は運転者が注意散漫になるのを避けるため、切り替えは行われず、自動的に選択されます。
- Bluetooth 接続は RE モバイルアプリを通じてのみ確立できます。
- 使用する前に、Bluetooth と位置情報の設定が常に「ON」になっていることを確認してください。
- ナビゲーションが低バッテリーモードで動作するように、スマートフォンのバッテリー最適化設定 / 低バッテリーカットオフ設定を無効にします。
- RE モバイルアプリは Android（現在のバージョン (-2)）および iOS（現在のバージョン (-1)）バージョンでのみ動作します。その他の下位バージョンではパフォーマンスのラグが予想されます。
- トリッパーの Bluetooth バージョンは 4.2 です。
- REモバイルアプリはBluetoothバージョン4.2および N+1.0 で動作します。その他の下位バージョンではパフォーマンスのラグが予想されます。
- ナビゲーションのラグが発生した場合は、ネットワーク信号強度を確認してください。
- ナビゲーションのラグが発生した場合はデータ速度を確認してください。ナビゲーションシステムのパフォーマンスは、他の下位バージョンと比較して、4G 帯域で優れています。
- GPS と位置情報の精度を上げるため、携帯電話を頻繁に校正してください。

操作方法

充電ポート

■ 急速充電用充電ポートは、左側ハンドルバーの方向指示器スイッチの下にあります。



警告

■ スマートフォンや充電器の損傷を避けるため、雨天時に使用しないことをお勧めします。RE はスマートフォンの損傷について一切責任を負いません。

■ 携帯電話以外のデバイスを使用しないでください。一度に充電できる携帯電話は 1 台のみです。

■ USBケーブルが正しく挿入されていることを確認してください。ケーブルを無理に挿入したり、誤って挿入したことによる損傷は保証の対象外となります。

■ 使用していない時は、ショートを防ぐため、USB ポートキャップを半開きまたは半閉じのままにしないでください。

■ ショートの原因となる可能性があるので、USB 充電ポート内に金属や導電性物質を挿入しないでください。

注記

■ 充電ポートは充電目的でのみ提供されており、データ転送はできません。

■ 一定充電モードのみが提供されており、複数のメーカーの携帯電話と互換性のある急速 / ダッシュ充電はありません。また、純正スマートフォン充電器の性能と同等ではありません。

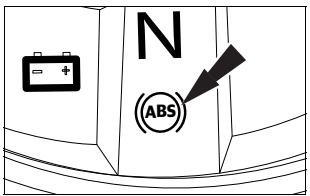
- スマートフォンのバッテリー容量、SOC、スマートフォンの充電回路によっては充電時間は長くなる可能性があり、携帯電話のメーカーによって充電時間が異なります。

注意

- お客様は、使用していない時はUSBポートキャップが適切に閉じられ、ロックされていることを確認してください。ポートキャップが破損していて適切に密閉されていない場合、保証は提供されません。
- 急速充電器は、モバイルバッテリーマネジメントシステム（BMS）に基づいて動作します。
- 接続されたモバイルデバイスのバッテリー需要に基づいて出力電圧と電流が調整されます。
- 充電プロトコル、バッテリー充電率、セル温度などの要素に基づくBMS需要。
- USB充電器はエンジンが作動している状態でのみ機能します。
- 正常に機能させるには、標準認可された高品質のUSBケーブルを使用してください。

アンチロックブレーキシステム（ABS）

■ アンチロックブレーキシステム（ABS）は、高速走行時や低摩擦路面で急ブレーキをかけた際に、ブレーキが車輪のロックを防ぐのに役立ちます。これにより、運転者は車両のトラクションと操作性を向上させることができ、スリップによる事故の発生を防ぐことができます。



■ 運転者がブレーキを突然強くかけた際、ブレーキシステム内のセンサーが ABS モジュレーターに信号を送り、油圧を瞬間的に連続的に下げることでブレーキが車輪をロックするのを防ぎ、車両の速度を低下させます。これが、運転者が車両を制御するのを助けます。

■ ABS に何らかの不具合が発生した場合に運転者に警告するために、クラスター内にはABSインジケーターランプが設けられています（横の画像を参照）。

■ イグニッションとエンジンキルスイッチを「ON」の位置にすると、車両が時速 5 km/h に達して「OFF」になるまで、ABSインジケーターランプが点灯し続けます。これは ABS が正常に機能していることを示します。ABSインジケーターランプが高速走行時にも「OFF」にならず、常に「ON」のままである場合は、ABS付きの車両を運転しないようにしてください。最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターでブレーキシステムを点検し、修理してください。これを怠ると、重大な怪我や死亡につながるおそれがあります。

注意

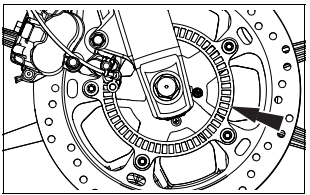
- ABS は、慌ててブレーキをかけた際に車輪がロックするのを防ぐ安全機能です。これは決して、適切な運転方法や早めのブレーキ操作の代わりになるものではありません。
- 特にコーナーリング中は慎重に運転し、ブレーキを慎重にかけてください。ABS は、コーナーを曲がる時の車両の「重量移動」と運動量を予測することができないため、トラクションの損失によるスリップを防ぐことができません。
- 走行速度に応じた停止距離を予測し、余裕を持ってブレーキをかけ、車両を安全に停止させてください。
- インストルメントクラスターは ABS システムに不可欠なパーツであるため、適切に機能していることを確認してください。
- 車両のトラクションと制御性が良い状態で停止させるために、両方のブレーキを同時にかけてください。
- 上記を守らない場合、重大な傷害や死亡につながる事故が発生する可能性があります。

警告

- ABSの正しい作動を確保するため、必ずRoyal Enfield が認定したフロント / リアタイヤとリアスプロケットを使用してください。
- サスペンションのストローク量を変更しないでください。
- ブレーキシステムには、Royal Enfield が認定した推奨スペアパーツのみを使用してください。
- ABS は停止距離を短くするものではありません。特定の状況では、ABS により停止距離が長くなる可能性があります。

注意

■ フロントおよびリアの ABS トナーリングの歯が破損していないか目視で点検します。



■ 歯の表面に破損やへこみがないか点検します。

■ 歯のエッジの外観は一貫している必要があります。トナーリングが破損または曲がっている場合は、最寄りの販売店に問い合わせて必要な措置を講じることをお勧めします。

■ ホイール速度センサー（フロントおよびリア）の先端にゴミがないか点検し、汚れが見られる場合は適切に除去することをお勧めします。または、必要な措置のために最寄りの販売店にお問い合わせください。

ロールオーバーセンサー

エンジンが作動し、ギアが入った状態で車両が左右いずれかに倒れた場合、ロールオーバーセンサーが燃料システムを「無効化」し、エンジンを「OFF」にします。これは、車両の損傷と運転者の怪我を防ぐためです。ロールオーバーセンサーをリセットし、燃料システムを再起動するには

■ 車両が垂直で、センタースタンドに立っていることを確認します。

■ ギアが正しくニュートラルになっており、インストルメントコンソールのニュートラルランプが点灯していることを確認します。

■ イグニッションとストップスイッチの両方を「OFF」にし、数秒待ってからイグニッションとストップスイッチを再び「ON」にして、エンジンを始動します。

注意点：(ABS)

すべきこと	してはいけないこと
■ エンジンを始動すると ABS インジケーターが「ON」になって点灯し、車速が 5 km/h を超えると「OFF」になることを確認してください。 ■ フロントおよびリアブレーキリザーバー内のブレーキフルードが「MAX」レベルであることをチェックし、ブレーキシステムに漏れがないことを確認してください。 ■ 効率をよくするために、両方のブレーキを同時にかけます。 ■ ABS インジケーターが継続して「ON」のままである場合は、最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターに車両を持ち込み、ブレーキシステムを点検してください。	■ 緊急時にブレーキを強く踏み込んで脈動を感じた時は、ブレーキレバー / ペダルを放さないでください。脈動は ABS の作動により起こるものです。 ■ フロントブレーキまたはリアブレーキのみを使用するとブレーキの効率が悪くなる可能性があるため、フロントブレーキまたはリアブレーキのみを使用しないでください。

運転前点検

乗車前、特に長期間車両を保管した後は、追加のメンテナンスが必要かどうかを判断するために、以下の点を慎重にチェックする必要があります。

1. 計画されている旅程に十分な燃料がタンク内にある。
2. タイヤの空気圧が適切か。タイヤの摩耗、亀裂がないか。
3. リアチェーンの張力が適切で注油が十分である。
4. ブレーキ、クラッチ、ステアリング、スロットルの応答が適切であるか。
5. フロントとリアのブレーキレバーの操作がスムーズで、遊びがある。
6. エンジンオイルレベル。
7. ホイールスポークの締まり具合が適切か、損傷がないか（スポークホイールモデルに適用）。
8. ヘッドランプ、テールランプ、ブレーキランプ、インジケーターが正常に機能している。
9. インストルメントクラスターのすべての警告ランプが正常に機能している。
10. ブレーキフルードのレベルがマスターシリンダーの「MIN」マークを超えている。
11. クラッチの遊びとクラッチの機能を確認。

警告

ご自身の安全と安心のために、上記の各項目は定期的に実行する必要があります。これを怠ると安全な操作が妨げられ、車両が損傷し、重大な傷害につながる可能性があります。

慣らし運転期間

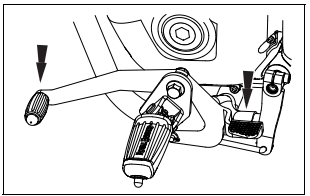
Royal Enfield の車両は、ご体感いただいているとおり、安定した高速走行が可能です。しかし、他の新しい車両と同様に、車両のさまざまな可動部品を適切に「馴染ませる」ために、そしてギアシフトなどの最適なパフォーマンスを実現するために、「慣らし運転期間」の手順が不可欠です。

1. 指定された最大積載荷重を超えないでください。タイヤの空気圧が適切か、タイヤの摩耗、亀裂がないか確認してください。
2. 車両を走らせる前に、エンジンオイルがエンジン内のすべての可動部品に注油できるように、アイドリング回転で数分間エンジンを暖めてください。ブレーキ、ステアリング、スロットルの適切な応答性を確認してください。
3. フルスロットル操作を避け、連続して一定のスロットルで走行しないでください。走行中は、速度を 10 %ほど変化させるようにしてください。
4. 適切な速度で走行し、急加速や急ブレーキは避けてください。
5. 1 時間以上連続して車両に乗ることは避け、短時間の休憩を取ることをお勧めします。

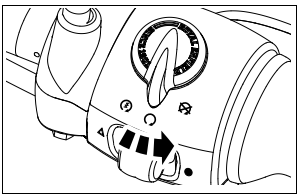
注記

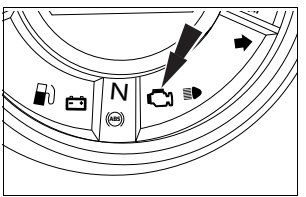
慣らし運転期間中は、以下の速度制限を超えないようにしてください。

ギア	車両速度			
	最初の 500 km (0 ～ 311 miles)		501 ～ 2,000 km (311 ～ 124 miles)	
	km/h	mph	km/h	mph
1	20	12	25	16
2	30	19	35	22
3	45	28	50	31
4	60	37	65	40
5	70	43	80	50



- ニュートラルに入れるには、ギアをシフトしながら車両をゆっくりと前後に動かします。ギアがニュートラル位置にあり、インストルメントクラスター内のニュートラルランプが点灯していることを確認します。
- イグニッションキーを ON 位置に回し、右手のサイドハンドルバーにあるエンジンキルスイッチを走行位置に回します。
- イグニッションスイッチとエンジンキルスイッチの両方が「ON」の位置にあり、車両を始動すると、MIL が数秒間点灯してから「OFF」に変わります。これは、電子燃料噴射（EFI）システムのすべての機能が正常に動作していることを示します。EFI システムに何らかの不具合が発生した場合、MIL が点灯し続けます。

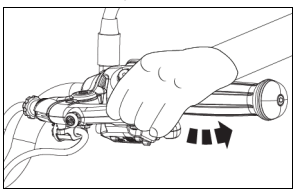




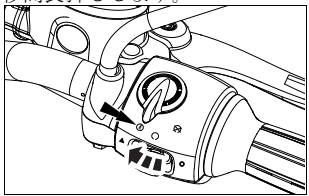
始動

注意

- 故障インジケーターがOFFにならない場合は、Royal Enfield 認定サービスセンターで車両を点検し、修理してください。
- クラスター内の燃料レベルインジケーターをチェックして、燃料タンクに十分な燃料があるかどうかを確認します。最後のバーが点滅し続ける場合は、タンク内の燃料レベルが低いことを示します。直ちに燃料を補給してください。
- クラッチレバーを引いてクラッチを解除し、握った状態で保持します。



- エンジンが始動するまで、スタータースイッチを最大 5 秒間長押しします。



注記

- 5秒以内にエンジンが始動しない場合は、スタータースイッチを離し、約 5 秒間待ってからエンジンの再始動を試みてください。
- 複数回試しても車両が始動しない場合は、イグニッションスイッチを OFF にしてから ON にし、もう一度始動させてください。

注意

■ 車両はサイドスタンド状態で始動できますが、ギアが噛み合うと停止します。このサイドスタンドカットオフ機能は、運転者の安全のために提供されています。車両が移動 / 始動する前にサイドスタンドが外されていることを確認してください。

注意

■ エンジンが始動しない場合、スタータースイッチを長時間押したままにしないでください。バッテリーが10 Vのしきい値を下回るまで放電してしまいます。Royal Enfield認定サービスセンターで車両を点検し、始動しない原因を特定して修理してください。

■ 特に寒冷条件では、エンジンが始動した直後に加速しないでください。エンジンオイルが循環してすべての内部可動部品が潤滑されるように、エンジン温度が上昇するまで、エンジンは少なくとも120 秒間アイドリング回転数で稼働させる必要があります。この情報は重要です。遵守しないと、エンジン内部に重大な損傷が発生します。

■ 必ずアイドリング回転数が安定して一定になってから、加速してください。

■ サイドスタンドが完全に格納位置にあることを確認します。格納位置にないと、ギアを入れた際にエンジンが「OFF」になります。

警告

車両に乗る際は、十分注意してください。注意を怠ると、事故を引き起こし、ご自身や他の道路利用者、通行人に怪我を負わせるおそれがあります。

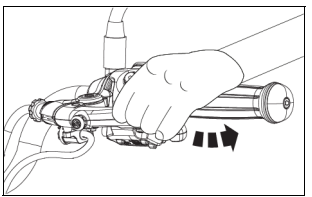
■ ギアがニュートラル位置にあり、スピードメーターのニュートラルランプが点灯していることを確認します。ニュートラルにシフトするには、ギアをシフトしながら車両をゆっくりと前後に動かします。

始動

注意

車両を前後に動かさずにギアをシフトしないでください。ギア機構が損傷するおそれがあります。

- クラッチレバーを握ったままにします。
- スターターボタンを押し、エンジンが始動するまで押し続けます。エンジンが始動する前にボタンから手を離さないでください。



- 3回連続でクランキングした後はスターターボタンを 5 秒以上押さず、バッテリーが回復するまで 15 ～ 20 秒待ちます。

ギアシフト、運転、停止

ギアシフトを行う前に、クラッチレバーを完全に握る必要があります。クラッチレバーを完全に握らないと、始動不良やエンジンストールの原因となるだけでなく、トランスミッション部品の損傷にもつながります。

■ 車両がニュートラル位置にある時は、ギアシフトレバーをつま先で押し下げて、1 速にします。

ギアシフトパターン

1 -- N -- 2 -- 3 -- 4 -- 5

半クラッチの使用パターン：

低速（10 km/h 未満）でスムーズな制御を維持するには、エンジンが停止するのを防ぐために、スロットルを操作する時にクラッチを部分的に接続（「スリップ」）することをお勧めします。クラッチをこの部分接続位置に保持する時は、クラッチ部品の過度の摩耗や損傷を避けるために、車両は 1 速にしてエンジン回転数を低くする必要があります。

■ 2 速以上のギアで、低速域で半クラッチの状態にする場合、クラッチを接続する際にエンジンストールするのを防ぐため、エンジン回転数を上げる必要があります。このような操作はクラッチの「スリップ」を増加させ、クラッチコンポーネントの早期摩耗につながるおそれがあります。

■ ギアを切り替えた後は、クラッチを徐々に（ただし、ゆっくりではなく）接続するようにしてしてください。

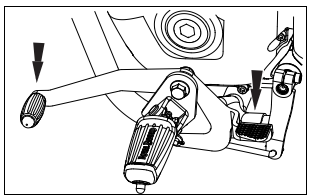
■ 可能な限り、適切なギアを選び、それ以外の時はクラッチを完全に切った状態にすることが、クラッチの寿命を延ばすポイントです。

推奨シフトアップ速度		
ギアチェンジ	km/h	(mph)
1速～2速	20	12.4
2速～3速	30	18.6
3速～4速	40	24.8
4速～5速	55	34.2

推奨シフトダウン速度		
ギアチェンジ	km/h	(mph)
5速～4速	50	31.1
4速～3速	35	21.7
3速～2速	25	15.5
2速～1速	15	9.3

注意

■ クラッチレバーを急に放し、スロットルの開きが不十分だと、車両はスムーズに発進せず、エンジンが停止してしまいます。



■ エンジン回転数が非常に高い状態でクラッチレバーが急に放されると、車両が突然動き出します。車両が制御不能となって事故につながり、運転者/他の道路利用者/通行人の負傷や死亡、車両の損傷につながる可能性があります。

- クラッチを放して車両を運転する際は、常に細心の注意を払ってください。
- 推奨されるシフトアップおよびシフトダウンの速度を守ってください。

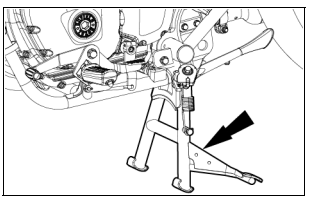
注記

- 必ずギアをニュートラル状態にして車両を始動してください。
- 常に 1 速の位置で車両を始動してください。
- エンジン回転数が低下した場合や、上り坂走行中、あるいは速度を落として走行しているときは、エンジンのストールや過負荷を防ぐため、適切な低速ギアにシフトしてください。
- クラッチレバーを完全に握り、スロットルを調整し、すぐに推奨ギアシフト速度に記載されている次のギアにシフトします。
- 上記を行わない場合、スムーズに発進ができなかったり、エンジンストール、ギアシフトの不具合を引き起こし、さらにトランスミッション部品の損傷を引き起こす可能性があります。
- 車両を完全に停止させる直前に、必ずギアをニュートラル位置にシフトしてください。
- スロットルを完全に戻し、クラッチレバーをゆっくりと離し、車両がニュートラル位置にあってニュートラルランプが点灯していることを確認します。
- 車両を安全な場所に停車させ、イグニッションを OFF にして、エンジンキルスイッチを OFF にします。
- 急な坂道での走行や長い道路を下る場合は、効果的なブレーキを実現するために、断続的にエンジンブレーキとブレーキを組み合わせてかけることをお勧めします。エンジンブレーキは、現在のギアからシフトダウンして車両を減速させることによって実現されます。

駐車

センタースタンドで車両を駐車する

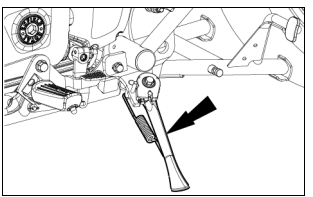
- 車両を直立させて駐車してください。
- ハンドルバーを真っ直ぐな位置でしっかりと握ります。
- センタースタンドを下げて、スタンドの両脚が固い地面に接するようにします。



- センタースタンドの支点レバーに圧力をかけ、車両を後方に引きます。
- ステアリングをロックし、ハンドルバーがしっかりとロックされていることを確認してから、イグニッションバレルからキーを抜きます。

サイドスタンドで車両を駐車する

- 車両を直立させて駐車してください。
- サイドスタンドを伸ばします。車両が地面にしっかりと支えられるまで、車両を左側に傾けます。



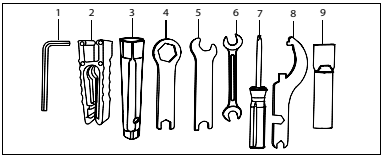
駐車

警告

- 車両を運転する前に、どちらのスタンドも完全に格納されていることを確認してください。
- 車両が倒れて自分や他人が怪我をしたり、車両の部品が損傷したりしないように、駐車時には十分注意し、固い平坦な地面に駐車してください。
- サイドスタンドは車両の重量に合わせて設計されています。サイドスタンドに立てている時は車両に座らないでください。サイドスタンドやフレームが破損し、車両が倒れるおそれがあります。

ツールキット

ツールキットは車両の右サイドパネルに収納されています。



シリアル番号	説明	数量
1	六角レンチ 6 mm	1
2	ヒューズプーラー	1
3	スパークプラグツール（8x16 ボックススパナ）	1
4	リングスパナ 24x14-24（アイレンチ）x 14（オープンエンド）コンビネーション	1
5	オープンエンドスパナ 17 x 13	1
6	ダブルエンドスパナ 10 x 12	1
7	ドライバー 06 x 120/135	1
8	Cスパナ	1
9	延長チューブ 28x7 & 24 x 14	1

簡単なメンテナンスのコツ

以下の簡単なメンテナンス作業は、車両の状態を維持するのに役立ちます。ただし、入念なメンテナンスが必要な場合は、Royal Enfield正規販売店/サービスセンターにお問い合わせいただくことをお勧めします。

コントロールケーブル

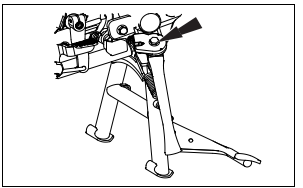
車両を水洗いした後、または雨天時に使用した場合は潤滑油を注油してください。

ハンドレバー、センタースタンド、サイドスタンドのピボット

- ピボットポイントを清掃し、土、汚れ、錆などがないことを確認します。
- ピボットに潤滑油を差します。

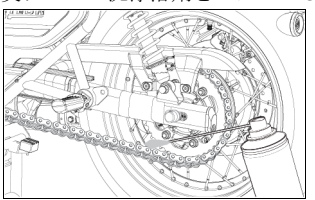
注記

土や汚れが堆積しないように、余分な潤滑油を拭き取ってください。



ドライブチェーン

- リアホイールを回転させながら、ドライブチェーンに推奨チェーン洗浄溶剤をスプレーします。

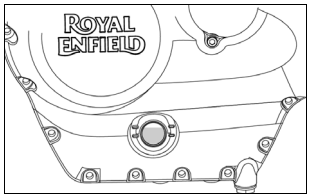


簡単なメンテナンスのコツ

- ドライブチェーンに洗浄溶剤が十分かつ完全にかかっていることを確認します。必要に応じて、適切なブラシを使用してチェーンから固い堆積物を取り除いてください。
- 数分間待ってからチェーンを徹底的に洗浄し、土や汚れなどを除去します。
- リアホイールをゆっくり回転させながら、チェーンリンクに推奨のチェーン潤滑剤を塗布します。
- 数分後、きれいな布で余分なチェーン潤滑剤を拭き取ります。

エンジンオイルレベルのチェック

- 車両がセンタースタンドで立っていることを確認します。
- エンジンを始動し、10 秒間ゆっくりと回転数を上げます（ハーフスロットル）。
- 15 秒間、車両をアイドリング状態のままにします。
- エンジンを OFF にして、オイルが落ち着くまで待ちます（約 1 ～ 2 分）。
- エンジンオイルのレベルは MAX レベルである必要があります。

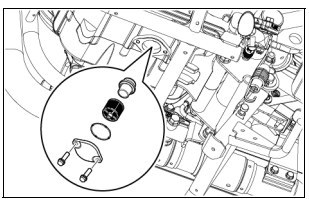


- オイルレベルが上記の状態にない場合は、オイルを「MAX」マークまで補充し、手順を繰り返します。
- クラッチ機能に影響を与えるおそれがあるため、「MAX」マークを超えてオイルを入れないでください。
- エンジンを OFF にして、オイルが落ち着くまで待ちます（約 60 ～ 120 分）。
- エンジンオイルのレベルは MAX レベルにしてください。

簡単なメンテナンスのコツ

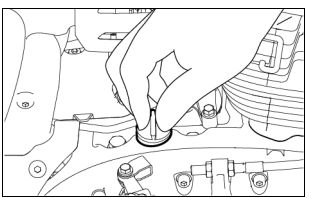
エンジンオイル排出

- 車両が地面に対して、真っ直ぐな位置であることを確認してください。
- エンジンオイルは、より速く排出されるよう、必ずエンジンが十分に暖まった時に排出する必要があります。
- エンジンオイル排出プラグの下にトレイを置き、キャップとOリングとともにボルトを取り外します。
- エンジンオイルが完全に排出されるまで最低 5 分間お待ちください。



オイルサービス中のオイル充填

- 車両が地面に対して、真っ直ぐな位置であることを確認してください。
- クランクケース内のオイルフィルター接合面、取り付ける新しいオイルフィルターを新しいOリングとあわせて清掃します。
- オイルパンのオイル排出穴接合面とドレンボルトを清掃します。
- 新しいOリングを使用してください。ストレーナーおよびストレーナーキャップをボルトを使用して取り付けます。



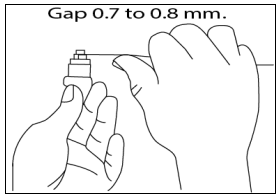
- オイルフィラープラグを外して、クランクケース内のオイルフィラーキャップ接合面とフィラープラグを清掃します。

簡単なメンテナンスのコツ

- 指定された新しいエンジンオイルを約 1.7 L 補充します。
- 新しいオイルフィラープラグの0リングを使用して、オイルフィラープラグを右側カバーに取り付けます。

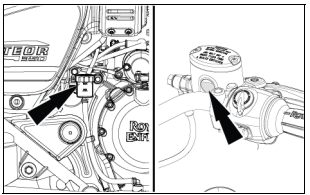
スパークプラグの清掃と調整プラグキャップ

- スパークプラグからスパークプラグキャップを外します。
- スパークプラグにスパークプラグレンチを当て、スパークプラグを緩めてシリンダーヘッドから取り外します。
- スパークプラグにカーボン堆積物がないか、中心電極に不均一な摩耗がないか確認してください。
- プラグの絶縁体先端と電極を丁寧に清掃してください。
- 電極ギャップが0.7～0.8 mmの間にあるか確認し、セットします。
- スパークプラグは、必ず推奨仕様に従って交換してください。
- 締め付けトルクの仕様に従ってスパークプラグをシリンダーヘッドに取り付け直し、スパークプラグにスパークプラグキャップを取り付けます。



ブレーキフルードの点検

フロント：ブレーキフルードリザーバーが水平になっていること、液面がウィンドウの中央にあることを確認します（「MIN」レベルマークを最低レベルとする）。
リア：ブレーキフルードリザーバーが水平になっていること、液面が「MAX」レベルマークと「MIN」レベルマークの間にあることを確認します。



車両を平らで水平な場所に直立させます。

注意

- ブレーキフルードは腐食性が非常に高く、塗装された部品に損傷を与える可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないようにしてください。こぼしてしまった場合は、損傷を防ぐために、そのエリアを直ちに柔らかい布（できれば濡れた布）で拭いてください。
- DOT4と他のブレーキフルードを混ぜないでください。

注記

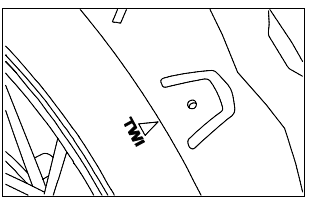
- 取り外す前にフィラーキャップを清掃してください。密封容器に入ったDOT4ブレーキフルードのみを使用してください。
- 指定されたブレーキフルードのみを使用してください。そうしないと、ゴムシールが劣化して漏れが発生する可能性があります。
- 同じタイプのブレーキフルードを補充します。DOT4 以外のブレーキフルードを追加すると、有害な化学反応が発生する可能性があります。
- 補充時にブレーキフルードリザーバーに水や埃が入らないように注意してください。水は液体の沸点を著しく下げ、ベーパーロックを引き起こす可能性があります。また、汚れは ABS 油圧ユニットのバルブを詰まらせる可能性があります。

警告

- ブレーキフルードレベルが不十分だとブレーキシステムが故障します。
- ブレーキフルードが古いとブレーキ効果が低下します。
- フロントブレーキとリアブレーキのブレーキフルードを、定期メンテナンススケジュールに従って交換するようにしてください。
- ブレーキフルードは子供の手の届かない所に保管してください。
- ブレーキフルードが皮膚、目、衣服に触れないようにしてください。
- ブレーキフルードは腐食性が非常に高く、塗装された部品に損傷を与える可能性があります。ブレーキフルードが車両のどの部分にもこぼれないように注意してください。こぼしてしまった場合は、直ちに柔らかい布で拭き取って、損傷を防いでください。

タイヤとホイールの点検

- 定期的にタイヤのトレッドの摩耗、ひび割れ、亀裂を点検してください。
- タイヤのトレッドに石、破片、釘、その他の粒子がかみ込んでいないか点検し、あれば取り除いてください。



- ホイールのスポークの破損やホイールリムのランアウトがないか、定期的に点検してください。
- タイヤを再取り付けする時は、必ずタイヤのビードがリムに適切に固定されているか確認してください。
- 推奨タイヤのみを使用し、適正な空気圧に調整してください。

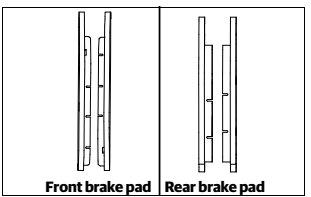
タイヤ空気圧	フロント	リア
1名乗車	32 psi	32 psi
2名乗車	32 psi	36 psi

警告

- タイヤの空気圧が低いとタイヤが過熱し、タイヤが損傷して運転者が負傷するおそれがあるため、適切なタイヤ圧で車両を運転することをお勧めします。
- 新しいタイヤに交換する場合は、Royal Enfield のタイヤ仕様を使用することをお勧めします。仕様を守らないとタイヤが損傷し、運転者が負傷するおそれがあります。

ブレーキパッド

- 定期メンテナンスチャートに指定された間隔で、フロントブレーキパッドとリアブレーキパッドの摩耗を点検する必要があります。



簡単なメンテナンスのコツ

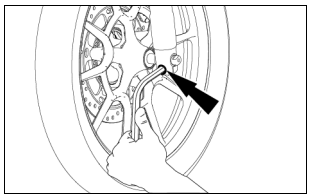
フロント / リア：ブレーキパッドがインジケーターまで摩耗している場合は、パッドを交換する必要があります。

注記

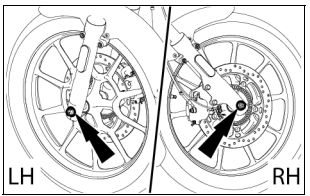
- ディスクブレーキを装備した Royal Enfield の車両は最適なブレーキシステムを備えており、あらゆる条件で優れた安全なブレーキ性能を発揮するように作られています。
- ディスクブレーキシステムは、特定の走行条件下で軽いノイズを発生させることがあります。これは、あらゆるディスクブレーキパッドについて、まったく正常な特性です。これは車両やブレーキシステムの性能には一切影響しません。
- Royal Enfield では、堅牢かつ厳格なテストおよび開発プロトコルを備え、品質と耐久性の世界的な検証基準を遵守しています。当社は、お客様に最高の所有体験を提供することをお約束します。

フロントホイールの取り外し（アルミホイールの場合）

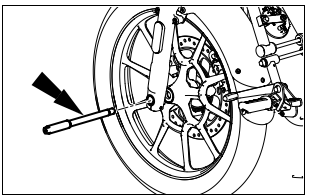
- 車両が固い平坦な地面に直立していることを確認してください。
- エンジンの下にシザージャッキを置き、フロントホイールが地面から最低 15 cm 浮くように車両を持ち上げます。



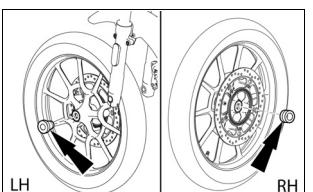
- 5 mm 六角レンチを使用して、右側のフロントフォークアセンブリから六角穴付ボルトを緩めます。



- 17 mm オープンエンドスパナで左側のスピンドルを押さえ、ツールキットに含まれている 24 mm リングスパナを使用して、右側フォークエンドのピンチボルトを緩めて取り外します。
- 木製ハンマーを使用して、スピンドルを右側から優しく叩きます。
- ホイールハブと左側のフロントフォークアセンブリから、スピンドルをゆっくりと取り外します。

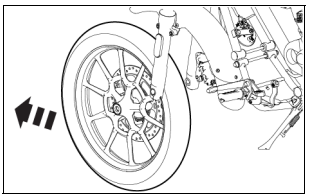


- ホイールがフォークレッグから出るように、ホイールをゆっくりと下げます。左側のホイールハブからスペーサーを取り外します。



注意

フォークから車軸を取り外す際は、ホイールスペーサーとスピードセンサーを固定するように注意してください。



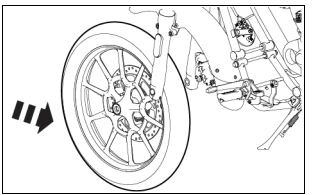
注意

フロントホイールを取り外した状態でブレーキレバーを握らないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

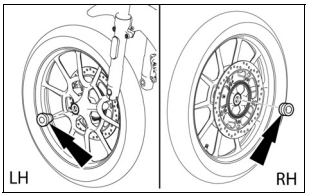
- フロントブレーキレバーを誤って握ってしまった場合にブレーキパッドが作動しないように、ブレーキパッドの間に4 ㎜厚の木片または段ボールシートを挟みます。
- ブレーキシステムと ABS に影響を与えてしまうため、フロントブレーキディスクまたはトナーリングを損傷しないように注意してください。

フロントホイールの取り付け（アルミホイールの場合）

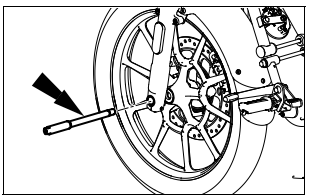
- ブレーキパッドの間に挟まれている木片 / 段ボールシートを取り外します。
- フロントホイールをフロントフォークアセンブリに慎重に揃えます。



■ スペーサーを左側からホイールハブに挿入します。

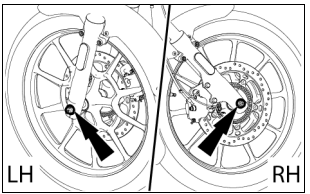


■ 右側フロントフォークアセンブリとホイールハブにスピンドルを挿入します。



■ 六角ナットをワッシャーとともに左側のスピンドルボルトに挿入します。

■ スパナでスピンドルを右側から保持し、六角ナットを軽く締めます。



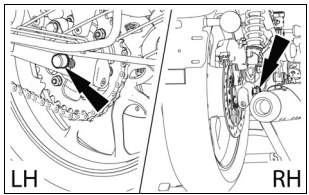
■ 六角穴付ボルトを右側フロントフォークアセンブリに締め付けます。

注意

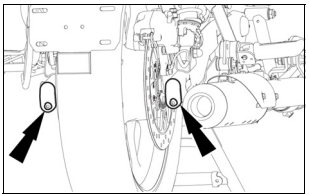
- 車両のフロントホイールを組み立てる際は、細心の注意を払ってください。
- 車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。
- これを怠ると、車両が正常に動作しなくなり、事故が発生して自分や他の道路利用者が負傷したり、死亡するおそれがあります。

リアホイールの取り外し（アルミホイールの場合）

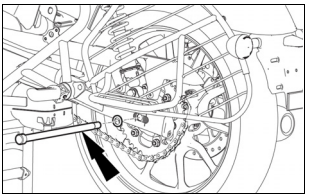
- 車両が固い平坦な地面に直立していることを確認してください。
- センタースタンドを立てます。



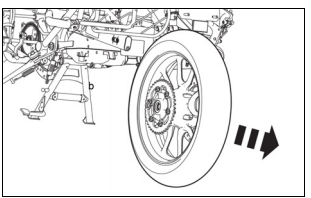
- 24 mm リングスパナとトミーバーを使用して、右側から六角アクスルナットを緩めて取り外し、反対側（左側）をトミーバーで保持します。
- 右側スイングアームのスピンドルからワッシャーを取り外します。
- 8 mm 六角レンチを使用して、左右両方のチェーンアジャスターにある六角ボルトを緩めます。



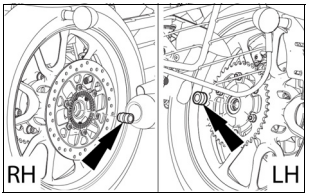
- リアホイールを前方向に押し、リアスプロケットのチェーンのたるみを増やします。
- 右側スイングアームからチェーンアジャスターアセンブリを取り外します。
- スピンドルをワッシャーとともにリアホイール左側から取り外します。
- チェーンアジャスターアセンブリを左側スイングアームからゆっくりと取り外します。
- ブレーキキャリパーをブラケットとともに外側にスライドさせて、取り外します。ドライブチェーンをスプロケットから慎重に緩めます。



- リアホイールハブから右側スペーサーを慎重に取り外します。リアホイールをスイングアームから慎重に取り外します。



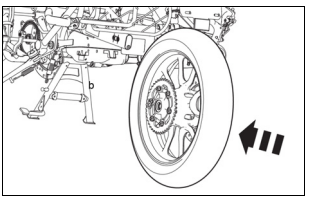
注意



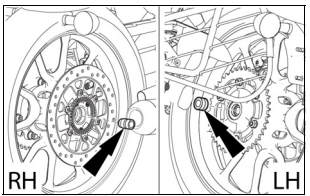
- 取り外す際にブレーキホースが損傷したり、よじれないように注意してください。
- キャリパーアセンブリを適切に支え、スイングアームから外します。
- リアホイールを取り外す時にリアブレーキペダルを踏まないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。
- リアブレーキペダルを誤って踏んでしまった際にブレーキパッドが作動するのを防ぐため、ブレーキパッドの間に 4 mm 厚の木片または段ボールシートを挟みます。
- いかなる理由でも、車両を持ち上げるためにリアブレーキペダルを操作しないでください。

リアホイールの取り付け（アルミホイールの場合）

- リアホイールをスイングアームに慎重に位置決めします。左右のリアホイールハブにスペーサーを挿入します。

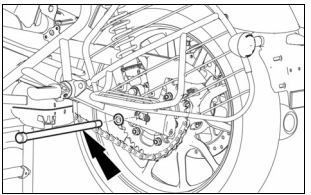


■ キャリパーアセンブリをスイングアーム内にスライドさせます。チェーンアジャスターアセンブリを左右のスイングアームに取り付けます。



■ トミーバー付きのスピンドルをワッシャーとともにリアホイールハブ左側に挿入します。

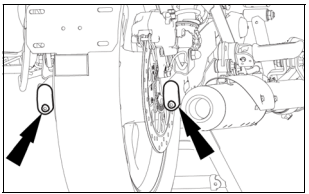
■ ワッシャーを右側スピンドルに取り付けます。六角ナットを取り付け、スイングに締めます。



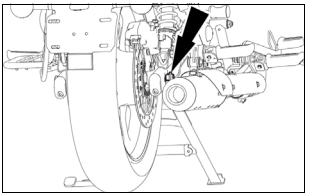
注記

■ 六角ナットを完全に締めないでください。

■ インデックスマークがスイングアームの両側で正しく位置合わせされるように、左右のアジャスターのチェーンアジャスターナットを締めます。



- チェーンの張りとホイールのアライメントが正しいかどうか確認します。
- ホイールアラインメントが正しくなるように、ラインが左右両側のスイングアームに刻印されたラインと一致していることを確認します。
- チェーンの遊びを確認したら、左側スピンドルをトミーバーで保持し、ホイールのアクスルナットを締めます。

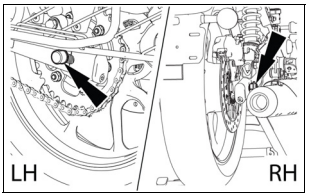


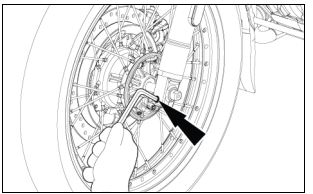
注意

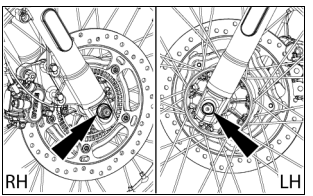
車両のリアホイールを取り付け直す際は、細心の注意を払ってください。

車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。

これを怠ると、車両の性能が低下し、自分や他の道路利用者が負傷したり、死亡する事故につながるおそれがあります。



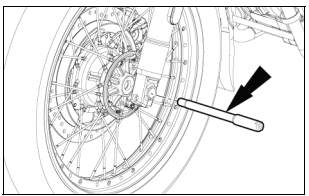




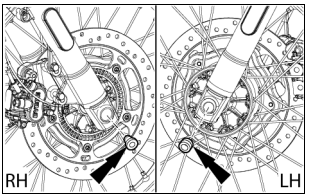
フロントホイールの取り外し（スポークホイールの場合）

- 車両が固い平坦な地面に直立していることを確認してください。
- エンジンの下にシザージャッキを置き、フロントホイールが地面から最低 15 cm 浮くように車両を持ち上げます。
- 5 mm六角レンチを使用して、右側のフロントフォークアセンブリから六角穴付ボルトを緩めます。

- ラチェット付き24 ㎜ソケットと17 ㎜オープンエンドスパナを使用して、スパナでスピンドルを保持し、六角ナットをワッシャーとともに右側から取り外します。
- 木製ハンマーを使用して、スピンドルを右側から優しく叩きます。



- ホイールハブと左側のフロントフォークアセンブリから、スピンドルをゆっくりと取り外します。
- ホイールがフォークレッグから出るように、ホイールをゆっくりと下げます。左側のホイールハブからスペーサーを取り外します。



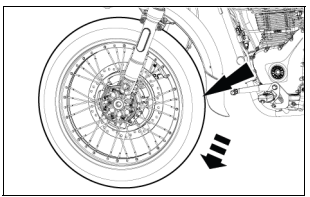
注意

フォークから車軸を取り外す際は、ホイールスペーサーとスピードセンサーを固定するように注意してください。

フロントホイールを取り外した状態でブレーキレバーを握らないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

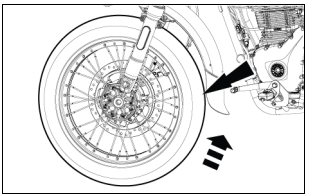
- フロントブレーキレバーを誤って握ってしまった場合にブレーキパッドが作動しないように、ブレーキパッドの間に4 ㎜厚の木片または段ボールシートを挟みます。

■ ブレーキシステムと ABS に影響を与えてしまうため、フロントブレーキディスクまたはトナーリングを損傷しないように注意してください。

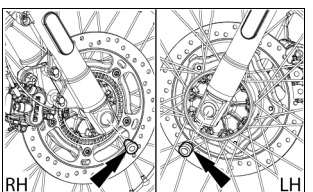


フロントホイールの取り付け（スポークホイールの場合）

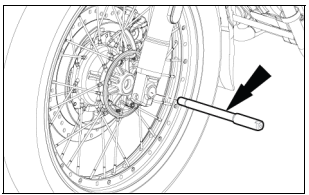
■ ブレーキパッドの間に挟まれている木片 / 段ボールシートを取り外します。
■ フロントホイールをフロントフォークアセンブリに慎重に揃えます。
■ スペーサーを左側からホイールハブに挿入します。



■ 右側フロントフォークアセンブリとホイールハブにスピンドルを挿入します。

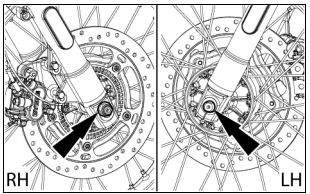


- 六角ナットをワッシャーとともに左側のスピンドルボルトに挿入します。
- スパナでスピンドルを右側から保持し、六角ナットを軽く締めます。
- 六角穴付ボルトを右側フロントフォークアセンブリに締め付けます。



注意

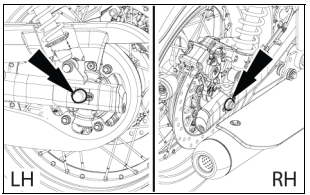
- 車両のフロントホイールを取り付ける際は、細心の注意を払ってください。
- 車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。



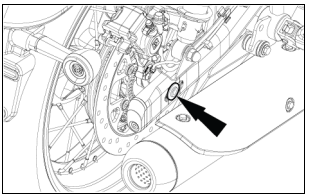
- これを怠ると、車両が正常に動作しなくなり、事故が発生して自分や他の道路利用者が負傷したり、死亡するおそれがあります。

リアホイールの取り外し（スポークホイールの場合）

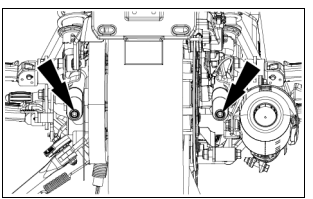
- 車両が固い平坦な地面に直立していることを確認してください。
- センタースタンドを立てます。



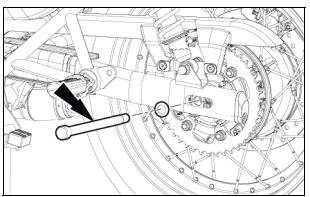
- 24 mm リングスパナとトミーバーを使用して、右側から六角アクスルナットを緩めて取り外し、反対側（左側）をトミーバーで保持します。
- 右側スイングアームのスピンドルからワッシャーを取り外します。
- 8 mm 六角レンチを使用して、左右両方のチェーンアジャスターにある六角ボルトを緩めます。



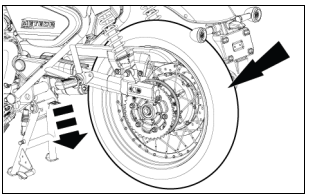
- リアホイールを前方向に押し、リアスプロケットのチェーンのたるみを増やします。



- 右側スイングアームからチェーンアジャスターアセンブリを取り外します。
- スピンドルをワッシャーとともにリアホイール左側から取り外します。
- チェーンアジャスターアセンブリを左側スイングアームからゆっくりと取り外します。

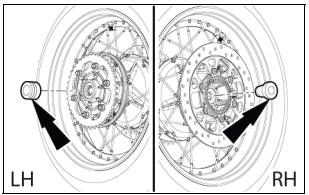


- ブレーキキャリパーをブラケットとともに外側にスライドさせて、取り外します。ドライブチェーンをスプロケットから慎重に緩めます。
- リアホイールハブから右側スペーサーを慎重に取り外します。リアホイールをスイングアームから慎重に取り外します。



注意

- 取り外す際にブレーキホースが損傷したり、よじれないように注意してください。
- キャリパーアセンブリを適切に支え、スイングアームから外します。
- リアホイールを取り外す時にリアブレーキペダルを踏まないでください。ブレーキパッドがブレーキキャリパーから外れてしまいます。

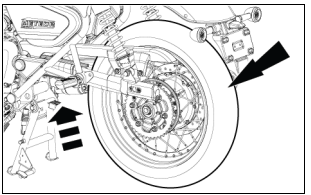


■ リアブレーキペダルを誤って踏んでしまった際にブレーキパッドが作動するのを防ぐため、ブレーキパッドの間に 4 mm 厚の木片または段ボールシートを挟みます。

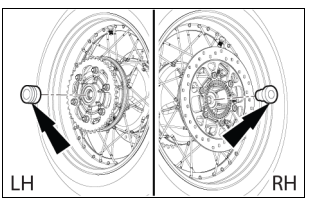
■ いかなる理由でも、車両を持ち上げるためにリアブレーキペダルを操作しないでください。

リアホイールの取り付け（スポークホイールの場合）

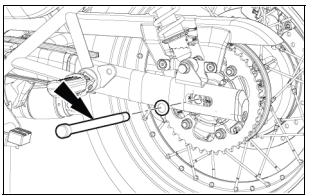
■ リアホイールをスイングアームに慎重に位置決めします。右側のリアホイールハブにスペーサーを挿入します。



■ ドライブチェーンをスプロケット上に置き、ホイールをスイングアームに合わせます。



- キャリパーアセンブリをスイングアーム内にスライドさせます。
- チェーンアジャスターアセンブリを左側のスイングアームに取り付けます。

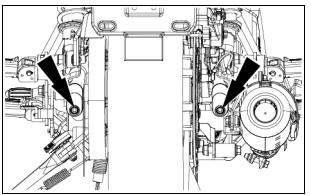


- トミーバー付きのスピンドルをワッシャーとともにリアホイールハブ左側に挿入します。
- ワッシャーを右側スピンドルに取り付けます。六角ナットを取り付け、スイングに締めます。

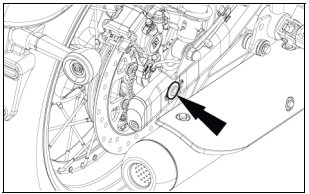
注記

- 六角ナットを完全に締めないでください。

- インデックスマークがスイングアームの両側で正しく位置合わせされるように、左右のアジャスターのチェーンアジャスターナットを締めます。



- チェーンの張りとホイールのアライメントが正しいかどうか確認します。
- ホイールアラインメントが正しくなるように、ラインが左右両側のスイングアームに刻印されたラインと一致していることを確認します。

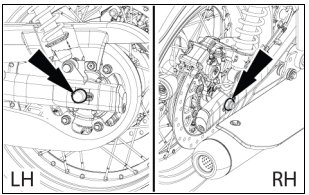


■ チェーンの遊びを確認したら、左側スピンドルをトミーバーで保持し、ホイールのアクスルナットを締めます。

注意

■ 車両のリアホイールを取り付け直す際は、細心の注意を払ってください。
■ 車両に乗る前に、ホイールが正しく取り付けられていることを確認してください。

■ これを怠ると、車両の性能が低下し、自分や他の道路利用者が負傷したり、死亡する事故につながるおそれがあります。



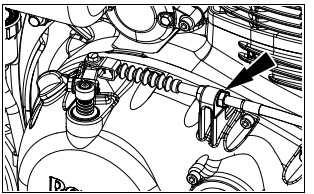
クラッチケーブルの遊び点検・調整

■ クラッチケーブルの遊びはクラッチの寿命に大きな役割を果たすため、クラッチの寿命を延ばすために必要に応じて調整することをお勧めします。

クラッチレバーの遊び仕様

■ 遊びはクラッチレバーのボールエンドで測定して、ハンドルバーを左に切った時に 10 ～ 12 mm である必要があります（画像 A を参照）。直進位置では 10 ～ 16 mm である必要があります（画像 B を参照）。

■ 調整するには以下の手順に従ってください：



注記

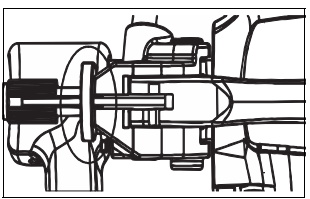
測定前にクラッチレバーを 3 回操作してください。

クラッチケーブル調整

- カバー端の調整ナットを完全に緩めます。
- クラッチパーチのレバー端にあるアジャスターを完全に締めます。
- ハンドアジャスターを 4 回転ほど緩めます。
- エンジンの遊びを調整して遊びをゼロにします。カバー端のクラッチケーブル調整ナットを締めます。
- 視差エラーを避けるため、測定中はスケールをボールの始点に合わせます。
- ステアリングを左ロック位置にセットします。レバーを 3 回引いて放し、クラッチレバーのハンドアジャスターを調整して、ボールエンドに 10 mm ～ 12 mm の遊びを持たせます。ロックナットを手でしっかりと締めます。
- レバーを3回引いて放します。ここでも遊びが10～12 mm であることを確認してください。必要に応じて調整してください。
- ステアリングを真っ直ぐにセットし、レバーを3回引いて放します。遊びが 10 mm ～ 16 mm であることを確認してください。
- 左ステアリング位置で、アームクラッチリリースに手で触れて確実な遊び（0 mm を超える）があるかを確認します。

注意

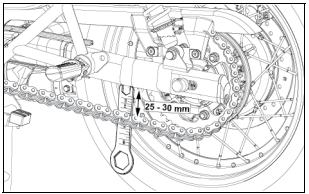
- 記載されている手順に従って遊びを調整することに不安がある場合は、最寄りのサービスセンターにお立ち寄りください。
- 希望する遊びが得られない、またはクラッチスリップの疑いがある場合は、遊びを確保し、最寄りのサービスセンターへご相談ください。



- アジャスターナットは、はみ出さずにネジ山領域に適切に収める必要があります（画像を参照）。
- クラッチの遊びは、エンジンが冷えている時にのみ確認および調整するようにしてください。
- クラッチの遊びを点検する際、クラッチケーブルに異常がないか点検します。
- 異常が疑われる場合は、最寄りのサービスセンターにお立ち寄りください。

ドライブチェーンの張り（遊び 25～ 30 MM）

- 車両を固い平坦な地面に、真っ直ぐに駐車してください。
- 車両がニュートラル位置にあることを確認してください。
- 図のようにドライブチェーンの遊びを測定します。ドライブチェーンの遊びは 25 ～ 30 mm です。
- ドライブチェーンの遊びが正しくないことが判明した場合は、次のように調整します：



(a) リアホイール車軸のアクスルナットを緩めます。
(b) ツールキットに含まれている 6 mm 六角レンチを使用して、スイングアームの左右チェーンアジャスターを締めます。
(c) 遊びを減らすには、アジャスターボルトを均等に締めます。
(d) 遊びを増やすには、アジャスターボルトを均等に緩め、リアホイールを前方に押します。
(e) チェーンの張りが適切かどうかを確認します。
(f) アジャスターとスイングアームのインデックスマークがスイングアームの左側と右側の両方で同じであることを確認します。
(g) スピンドルを左側にしっかりと固定し、後部の六角ナットを 70 Nm のトルクで締めます。
(h) ツールキットに含まれている 6 mm 六角レンチを使用して、スイングアームの左右チェーンアジャスターを締めます。

警告

チェーンの遊びが 30 mm を超えると、チェーンの滑りが発生し、チェーンとスプロケットの摩耗率が増加する可能性があります。
チェーンを調整した後、リアホイールのスピンドルナットを締める前に、両方のホイールが正しく位置合わせされていることを確認してください。

簡単なメンテナンスのコツ

バッテリーとメンテナンス

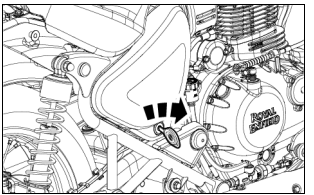
■ バッテリーは、清潔で端子が腐食していないかを定期的に確認する必要があります。

注記

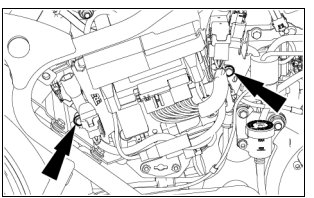
バッテリー端子の接触不良や緩みにより、電気・電子部品の故障の原因となる場合があります。

取り外し

■ エンジンをOFFにして､イグニッションキーをキーバレルから抜きます。
■ バッテリーは、車両の右側、電気ヒューズボックスの近くにあります。
■ キーを右サイドパネルに挿し、時計回りに回して右サイドパネルカバーを開きます。
■ シートロックを引いて車両からシートを取り外します。手順に従って左サイドパネルを取り外します。

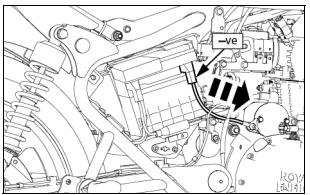


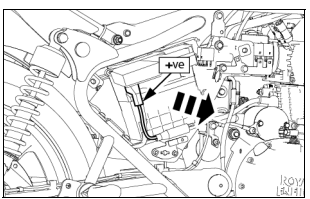
■ バッテリーサポートブラケットをヒューズボックスと配線とともに取り外します。



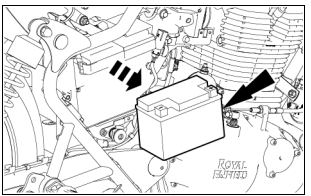
簡単なメンテナンスのコツ

■ まず 10 mm のスパナを使用して、バッテリーのマイナス (-) 端子ボルトを外し、次にプラス (+) 端子 を取り外します。





■ トレイと一緒にバッテリーをパネルからゆっくりと取り外します。



警告

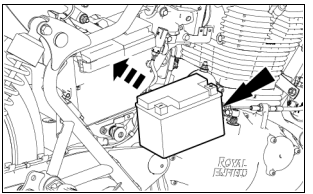
1. バッテリーを取り外す際は、必ず最初に黒色のマイナス (-) バッテリーケーブルを外してください。
2. 次に赤色のプラス (+) ケーブルを外して、バッテリー接続を解除します。

注記

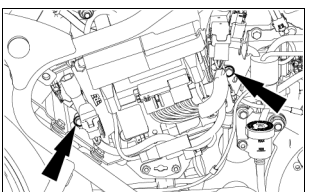
バッテリーを良好なパフォーマンス状態に保つには、車両を頻繁に使用することが非常に重要です。車両の使用頻度が非常に少ないにも関わらず端子が取り外されていないと、バッテリーの充電がなくなり、バッテリーが上がってしまいます。
バッテリー電圧の点検については､Royal Enfield 認定サービスセンターまでお問い合わせください。

取り付け

- バッテリーをキャリアに置きます。
- バッテリーサポートブラケットをバッテリートレイに置きます。

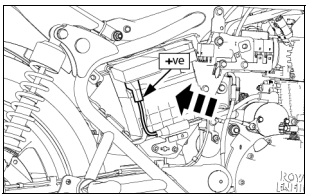


- フランジヘッドネジ 2 本をバッテリーストラップブラケットに配置して締めます。



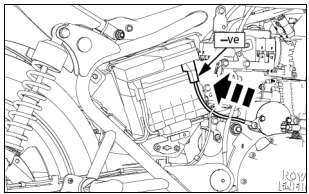
簡単なメンテナンスのコツ

■ 最初にプラス（+）端子、次にマイナス（-）端子にそれぞれのケーブルを接続して端子にワセリンを塗り、それぞれのケーブルの付属のゴム製スリーブで端子を覆います。



■ バッテリーサポートブラケットをヒューズボックスおよび配線とともに組み立てます。

■ シートを組み立ててから右サイドパネルカバーを閉じ、キーを反時計回りに回してパネルをロックします。



注意

1. 必ず最初に赤いプラス（+）バッテリーケーブルを接続します。
2. 次に、黒いマイナス（-）ケーブルを接続し、バッテリーの接続を元に戻します。

注記

ワイヤー端子を腐食から守るため清掃し、端子にワセリンを塗布しておきます。

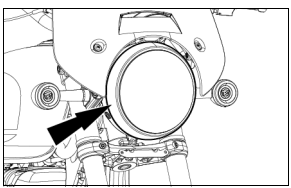
注意

赤いプラス (+) 端子と黒いマイナス (-) 端子のケーブルをそれぞれのバッテリー端子にしっかりと接続しておきます。これを怠ると、車両の電気系統が損傷する可能性があります。

電装品の交換

ヘッドランプ

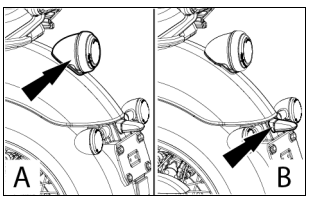
■ ヘッドランプには LED 照明システムが搭載されています。故障した場合は、ヘッドランプ LED アセンブリを交換する必要があります。



■ 交換するには、Royal Enfield 認定販売店 / サービスセンターにお問い合わせください。

テールランプとナンバープレート照明

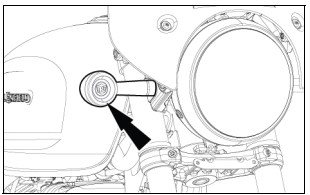
■ テールランプ (A) とナンバープレートイルミネーター (B) には LED 照明システムが搭載されています。故障した場合は、テールランプ (A) とナンバープレート照明 (B) アセンブリ全体を交換する必要があります。



■ 交換するには、Royal Enfield 認定販売店 / サービスセンターにお問い合わせください。

方向指示器

■ 方向指示器には LED 照明システムが搭載されています。故障が発生した場合は、方向指示器 LED アセンブリを交換する必要があります。

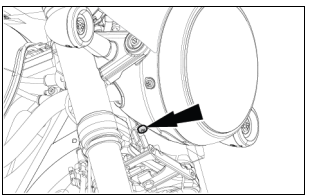


■ 交換するには、Royal Enfield 認定販売店 / サービスセンターにお問い合わせください。

ヘッドライトの光軸調整

■ 調整ネジを時計回りまたは反時計回りに回すことで、ヘッドライトのビーム焦点を垂直方向に調整できます。

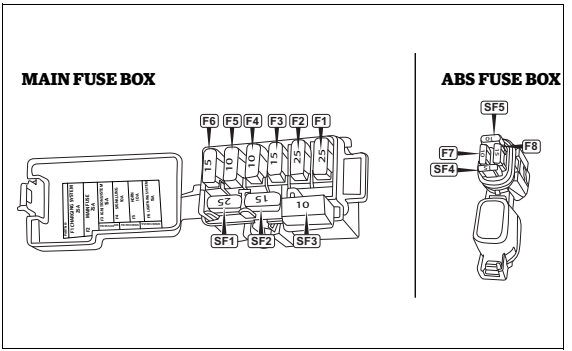
■ 調整ネジは、ヘッドライトビームの高さを垂直方向にのみ増減するために使用します。これは、視認性を高め、他の運転者や車両が近くを通過する時に目を眩ませないようにするのに必要な場合があります。



簡単なメンテナンスのコツ

ヒューズとヒューズキャリア

ヒューズキャリアは右サイドパネルの中にあります。



ミニブレードヒューズ使用リスト

ヒューズ ID 番号	色	定格	備考
F1	WHT	25 A	充電システム
F2	WHT	25 A	メインヒューズ
F3	BLU	15 A	点火システム
F4	RED	10 A	シグナリング
F5	RED	10 A	ホーン
F6	BLU	15 A	照明システム
ABS ヒューズリスト			
F7	RED	10 A	ABS ヒューズ -1
F8	BLU	15 A	ABS ヒューズ -2
予備ヒューズリスト			
SF1	WHT	25 A	予備ヒューズ
SF2	BLU	15 A	
SF3	RED	10 A	
SF4	BLU	15 A	
SF5	RED	10 A	

警告

ヒューズが切れた場合は、車両の電気系統を徹底的に点検し、直ちに修理を行ってください。これを怠ると、ヒューズが再び切れる原因となる可能性があります。
指定された定格以外のヒューズを使用したり、その他の導電性材料や低品質のヒューズを使用すると、電気システム全体が損傷します。
できるだけ早くホルダー内の予備ヒューズへ交換してください。
欠陥のあるヒューズをジャンプさせると、ショートや火災の危険が生じます。切れたヒューズは必ず同じ定格の新しいヒューズと交換してください。

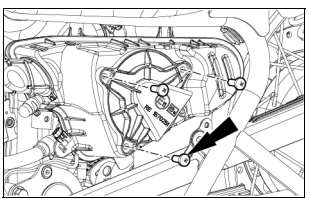
注記

電球、ヒューズ、電気部品を交換する時は、イグニッションスイッチが「OFF」の位置になっていることを確認してください。

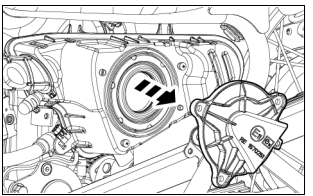
簡単なメンテナンスのコツ

エアフィルター

- エアフィルターは左サイドパネルの中にあります。
- キーを時計回りに回して左サイドパネルのロックを解除します。
- ドキュメントホルダーを上下にスライドさせて取り外します。
- ツールキットに含まれているドライバーを使用して、エアフィルターカバーのネジ3本を取り外します。



- エアフィルターボックスからカバーを取り外します。
- フィルターエレメントを引き出して汚れがないか確認します。フィルターエレメントを丁寧に清掃してください。



- エアフィルターボックス内に埃やオイル分がないか確認し、丁寧に清掃してください。

注記

エアフィルターエレメントを清掃するのに高圧の圧縮空気の使用はお勧めしません。エアフィルターエレメントを交換するには、取り外し手順を逆の順序で実行します。

長距離走行の注意事項

長距離走行の出発前チェック

- Royal Enfield 認定サービスセンターで車両の点検を受けてください。
- 計画された旅程に十分な量の燃料が常に燃料タンク内にあることを確認してください。
- 必要に応じてタイヤの空気圧を点検し、調整してください。

長距離走行前のチェック項目

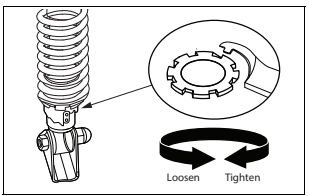
- 留め具が緩んでいないか
- タイヤの状態
- エンジンのオイルレベルの調整
- すべてのライトとホーンが作動すること
- ドライブチェーンの張力が適切であること
- クラッチケーブルの遊び

携行品

- ツールキット
- ヒューズ
- アクセルとクラッチケーブル
- スパークプラグ、スパークプラグキャップ、燃料ホース

リアサスペンションの設定

- 車両をセンタースタンドで立てます。
- タイヤの空気圧が推奨値になっていることを確認してください。
- 調整する前に、アジャスターに土やゴミがないことを確認してください。土やゴミがある場合は、調整する前に適切に清掃してください。

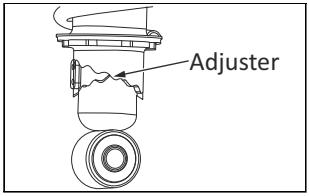


- アジャスターは6段階で、第1ノッチ位置にあります。
- Cスパナを使用してアジャスターを時計回りに回転させてショックプリロードを増やします。
- Cスパナを使用し、反時計回りに回転させてショックプリロードを減らします（最初のノッチの位置にします）。
- 両側で同じ調整を行ってください。調整が不均一だと、運転者が不快に感じる可能性があります。

注記

- サスペンションを調整するにはCスパナが必要です。車両のツールキットに付属しているCスパナを使用することをお勧めします。延長チューブは、てこの目的で使用してください。
- 運転者の体重、荷物や乗客の体重に合わせてスプリングのプリロードを設定すると、最適な設定をすることができます。

リアサスペンションの設定



■ フル積載時（GVW 状態）はプリロードを増やし、最後のノッチで止めることをお勧めします。これにより、ハンドリングと安定性を理想のバランスで確保できます。

状態	最大基準積載量	サスペンション設定ノッチ	タイヤ空気圧（psi）	
			フロント	リア
積載物なし / 1 名乗車 / 運転者のみ	運転者 90 kg まで	第 1	32	32
積載物あり / 2 名乗車 / 運転者 + 同乗者 / 運転者 + 同乗者 + アクセサリー	最大積載量は 180 kg（運転者の重量、同乗者の重量、アクセサリーを含む）	第 6	32	36

* 左右リアサスペンションのプリロードが均等に設定されていることを確認してください。

清掃手順

注意

- イグニッションキーを抜き、粘着テープを使用してイグニッションキーバレルスロットを密閉します。
- 車両の洗浄に進む前に、右サイドパネルの内側にあるツールキットや救急箱、その他の関連書類を取り外してください。
- サイレンサーのテールパイプ、ホーン、コントロールスイッチを適切なビニール袋で覆い、しっかりと縛って水の浸入を防ぎます。
- 車両の洗浄は、エンジンが冷えた状態の時にのみ行ってください。
- 水の浸入を防ぐため、洗浄中はサイドパネルを取り外さないでください。
- エンジン部分は推奨の非腐食性溶剤を使ってブラシをかけ、汚れやグリースを除去します。
- 低圧水ジェットを使用して洗浄します。
- ヘッドランプ、メーター/クラスターユニット、フラッシャーライト、フロントおよびリアホイールハブ、電気接続部および配線、コントロールケーブル、EFI コンポーネント、スパークプラグ、バッテリー、サイドパネルに強い勢いで水をかけないでください。
- ヘッドストックベアリングまたはステアリングステムベアリングのシール、ホイールベアリングのシール、ブレーキキャリパー、吸気口および排気口の近くでは、高圧洗浄機やスチームジェットクリーナーを使用しないでください。
- 塗装面やゴム部品に腐食性溶剤を塗布しないでください。
- 塗装部分は、ぬるま湯と中性洗剤を使って汚れなどを落としてください。
- 車両を真水で徹底的に洗い流して洗剤を除去します。
- 通気孔からの水の浸入を防ぐため、インストルメントクラスターの下側に向けて直接水を吹きかけないでください。
- 可能であれば、圧縮空気を使用して車両の奥まった部分や電気接続部などから水滴を吹き飛ばしてください。

清掃手順

- 車両を塩分の多い状況（例：冬季に道路に塩を撒く地域）または海岸地域付近で運転した場合は、腐食や錆の蓄積を防ぐために、走行後に車両を冷水で洗浄することをお勧めします。温水は塩分との化学反応により車両を傷めるおそれがありますので、洗車には使用しないでください。洗浄後、車両が完全に乾いたら、部品を腐食から保護するために、すべての金属およびクロムメッキ部分に腐食防止スプレーを塗布することをお勧めします。
- ブレーキディスクに防錆スプレーを塗布しないことをお勧めします。
- 電子部品の清掃や洗浄にはガソリン、ブレーキオイル、その他の可燃性液体を使用しないでください。
- 車両コンフィギュレーターで選択した部品は、石けんや化学薬品で洗浄しないでください。真水のみで洗ってください。
- デカール、電気部品、カプラージョイント、サイレンサーテールパイプや、ステアリングコーンキット、ブレーキペダル、ホイールベアリング、チェーン、ブレーキカム、スイングアームブッシュなどのラジエーター潤滑ポイントの端に、直接ジェット噴射をしないでください。これらは（ジェットモードではなく）スプレーモードでのみ洗浄するようにしてください。

洗浄後

- 清潔で柔らかく、糸くずの出ない吸水性の布またはセーム革で拭いて、車両が完全に乾いていることを確認してください。
- すべての粘着テープをはがします。
- コントロールケーブル、フットレストのピボット、サイドスタンド、ブレーキおよびギアシフターのリンケージ、ドライブチェーンなどに潤滑油を塗ります。
- 推奨される自動車用研磨ワックスを使用して塗装面およびメッキ面を磨きます。
- エンジンを始動し、アイドリング速度で数分間運転してエンジンを暖めます。
- 車両をゆっくり運転し、両方のブレーキを断続的にかけてブレーキパッドの水を乾燥させます。
- ツールキットやその他の関連書類を右サイドパネル内に保管する前に、右サイドパネルの中の水分を完全に除去・拭き取ってください。

保管上の注意

車両を 1 か月以上使用しない場合は、以下の措置を講じてください。

- Royal Enfield 認定サービスセンターで車両の点検を受けてください。
- 燃料タンクと吸気システムから燃料を完全に排出します。
- スパークプラグを外し、スパークプラグの穴から約 5 ml のきれいなエンジンオイルを注ぎます。穴を閉じてエンジンを数回始動し、スパークプラグを取り付け直します。
- ドライブチェーンを徹底的に清掃し、Royal Enfield が推奨するチェーン潤滑剤を塗布します。
- 塗布後 5 分経ったら、余分な潤滑剤を拭き取ってください。
- ヒューズボックスから充電回路ヒューズを取り外します。
- バッテリーは涼しく乾燥した換気の良い場所に保管してください。
- 湿気の侵入を防ぐためにサイレンサーを適切な袋で覆ってください。車両をセンタースタンドで立てます。
- すべてのメッキ部品に防錆液を塗布します。この溶液をクロム、ゴム、塗装された部品に塗布しないように注意してください。車両は湿気や埃のない、清潔な屋根付きの場所に保管してください。
- 保管後に再度使用する時は、車両を最も良い動作状態に戻すために、Royal Enfield 認定サービスセンターで点検を受けることをお勧めします。
- 車両を 1 か月以上使用しない場合は、バッテリー端子を外してバッテリーを取り外しておくことをお勧めします。車両にバッテリーを再度取り付ける前に、バッテリーの電圧が仕様範囲内であることを確認してください。範囲外の場合は、認定サービス工場にて充電をしてください。

トラブルシューティング

車両が動かない場合に備えて、いくつかの基本的なチェック項目を以下に挙げます。これらの点検を行っても問題が解決しない場合は、問題を正しく解決し、安心してお乗りいただくために、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターで車両の点検を受けてください。

症状	所見	確認 / 対処
エンジンが始動しない	イグニッション / エンジンキルスイッチが OFF 位置の場合	イグニッションを ON にする
	燃料タンク内の燃料レベルが不十分な場合	燃料を補給する
	ライトが暗い / クラクションの音が弱い場合	バッテリーの電圧低下または放電している / 充電回路の問題。認定サービスセンターに問い合わせてください
	ヒューズが切れた場合	1. 同じ定格のヒューズに交換する 2. 問題が解決しない場合は、認定サービスセンターに問い合わせてください
	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションコードの接続の問題	スパークプラグ、キャップ、ハイテンションコードを再接続する

トラブルシューティング

症状	所見	確認 / 対処
エンジンは始動するが、1速に入れると車両が自動的に OFF になる	サイドスタンドを出した状態	サイドスタンドを払う（収納する）必要があります
エンジンの失火と不規則な作動 / 停止	燃料に不純物や水分が混入している場合	認定サービスセンターに問い合わせてください
	エンジンが熱くなりすぎた場合	エンジンを切り、冷却します
レスポンス不良	エンジン回転数が車速に対して不釣り合いに上昇する場合	クラッチの遊びを調整し、認定サービスセンターに問い合わせてください
ABS（アンチロックブレーキシステム）	ABS ランプが点灯し続ける場合	認定サービスセンターに問い合わせてください

環境保護

環境に配慮あるライダーになるために

Royal Enfield に乗って、美しい場所を走りましたね。美しい場所は、そのままにしておきたくないですか？他の人も楽しめるように、これらの場所を汚さずに保つためのヒントをいくつか紹介します。

使用済み部品・車両の廃棄

エンジンオイル、クーラント、その他の洗浄溶剤などの液体廃棄物は定期的に交換する必要がありますが、それらはどうなるのでしょうか？土壌や水域に投棄されないように注意してください。

これらは容器に保管し、政府認定のリサイクル業者（ある場合）または RE サービスセンターに引き渡す必要があります。

バッテリー、タイヤ、プラスチック部品、電気または電子部品、オイルフィルターについては、認可されたリサイクル業者（ある場合）または RE サービスセンターにのみ引き渡してください。

車両の清掃に使用した洗浄溶剤やスプレーは、環境に配慮した方法で廃棄しなければなりません。

使用済み車両とみなされる車両を処分する場合は、必ずお近くの認可 / 登録された車両処理施設に車両を引き渡すか、地方自治体に連絡して適切な手続きを取ってください。

定期メンテナンス

ここに詳述するメンテナンススケジュールは、Meteor350 を丁寧にメンテナンスし、トラブルのない快適な走行を実現するのに役立ちます。このスケジュールは、平均的な走行条件に基づき、定期的な点検、調整、交換、および注油を行うべき走行距離を示しています。厳しい運転条件の場合や、汚れの多い環境で車両を使用している場合は、メンテナンスの頻度を短くする必要があります。専門家のアドバイスが必要な場合や、必要なメンテナンスを行うには、最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターにお問い合わせください。

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km（× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	miles（×1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
1	エンジンオイル（レベルチェック / 交換）	R	I	R	I	R	I	R	I	R	I	R
		1,000 km ごと、またはそれ以前にレベルを点検し、必要に応じて補充してください。										
2	エンジンオイルフィルターエレメント	R		R		R		R		R		R
3	左クランクケースのエンジンオイルストレーナー	C		C		C		C		C		C
4	吸気 / 排気バルブのタペット調整			I&A		I&A		I&A		I&A		I&A

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km（× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	miles（×1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
5	ゴムホース吸気アダプター	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
6	蒸発ガス排出装置のゴムホースのプラグを外して過充填を排出	I	I	I	I	I	I	I	I	R	I	I
7	スパークプラグ			C&A		R		C&A		R		C&A
8	ハイテンションコードのひび割れ（亀裂）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
9	エアフィルターエレメント	C	C	R	C	R	C	R	C	R	C	R
		埃っぽい環境で操作する場合は、より頻繁に清掃 / 交換してください。										
10	エアフィルターボックス下の通気管	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
11	スターターモーターとスターターリレーの接続	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km（× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	miles（×1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
12	バッテリー端子（ワセリンを塗る）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
13	アース線のアイレット端子					I						I
14	インジェクターホース	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
15	燃料ポンプフィルター							R				
16	フロントフォークオイル	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I
17	ステアリングボールレースの動作	5,000 km ごとに、または必要に応じてそれより早く点検および調整して、必要に応じて注油してください。必要に応じて交換してください。										
18	フロントおよびリアのスポークの張り具合（スポークホイールモデルに適用）	I		I		I		I		I		I
19	フロントおよびリアのホイールリムの振れ	I		I		I		I		I		I

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km（× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	miles（×1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
20	スイングアームピボットブッシュとスペーサー	I	5,000 kmごとに、または必要に応じてそれより早く点検し、必要に応じて注油してください。必要に応じて交換してください。									
21	タイヤの摩耗（フロントとリア）	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
22	リアホイールドライブチェーン	1,000 kmごとに清掃、注油 /5,000 kmごとに、または必要に応じてそれより早く清掃、注油、調整してください。										
23	リアホイールクッシュドライブラバー					I&R				I&R		
24	フロントおよびリアのブレーキホースとバンジョーボルト	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
25	ブレーキフルードの量（フロントおよびリアのディスクブレーキ）	I	I	I	I	R	I	I	I	R	I	I
26	クラッチレバー / ケーブルの遊び	必要に応じて1,000 kmごと、またはそれより早く調整し、必要に応じて交換してください。										

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km（× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	miles（×1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
27	ハンドレバーとフットレバー	必要に応じて1,000 kmごと、またはそれより早く注油してください。										
28	ピボット式サイドスタンド、センタースタンド、タンデムフットレスト、ギアシフター、ブレーキペダル、レバー	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L	L
29	スロットルケーブル	5,000 kmごと、または必要に応じてそれより早く調整してください。										
30	ブレーキパッド - フロントとリア	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
31	サイドスタンドスイッチの操作	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
32	車両のすべての取り付け部分の、締付け状態を確認する	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I

定期メンテナンス

シリアル番号	説明	定期メンテナンス（いずれか早い方のタイミングで実施）										
	km（× 1,000）	0.5	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	miles（×1,000）	0.3	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
	月数	1.5	6	12	18	24	30	36	42	48	54	60
33	スロットルボディ - クリーニング	スロットルボディは車両から取り外し、乾いたマイクロファイバー布で清掃する必要があります。スロットルボディクリーナーや類似の溶剤、アルコールベースの液体を清掃に使用することは固く禁じられています。スロットルボディの清掃は、10,000 km または 12 ヶ月ごとに、あるいは必要に応じてそれより早い時期に行う必要があります。										

A：調整　C：清掃　I：点検（必要に応じて清掃、調整、注油、交換）L：注油　R：交換

注記

50,000 km 走行後のメンテナンスについては、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターにご相談の上、上記と同じ頻度で繰り返してください。

一般保証規約

Royal Enfield の車両（以下「車両」）は、材料と仕上がりに関して最高の品質基準に従って製造されています。すべての車両（登録した国に関係なく）は、他の国にある Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターで限定された保証サービスを受けることができます。登録した国に加えて、お客様は、ボーダーレス保証規約に記載されている利用規約を参照する必要があります。

重要：本利用規約をよく読んで理解してください。

この保証は、車両の保証範囲の義務と除外のみを規定する契約条件を規定しており、Royal Enfield 正規販売店側のものではありません。この文書の内容は、Royal Enfield とその正規販売店またはスタッフとの間に代理店契約関係があることを意味するものではありません。Royal Enfield は、以下の条件に従い、通常の使用に関して車両に製造上および材料上の欠陥がないことを保証します：

1. 車両の保証は、最初の所有者への車両の販売日から 36 か月間適用され、その後の所有者に対しては、上記の保証期間満了までの残りの期間について保証が適用されます。
2. 2 人目以降の所有者が保証特典を利用するには、最寄りの Royal Enfield 認定サービスセンターに車両の購入について通知し、Royal Enfield 認定サービスセンターから求められる書類に必要な詳細事項を記入する必要があります。

一般保証規約

3. 取扱説明書に記載されているスケジュールに従って、それぞれの保証期間 / 走行距離（km）の範囲内に、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターにより当該車両に関するすべてのメンテナンスと整備が行われている場合に限り、車両の保証が適用されます。
4. 保証期間中、Royal Enfield の保証義務は、検査の結果、不良部品に製造上の欠陥があると判断された場合にのみ、不良部品を修理するか、新しい部品と交換することに限定されます。保証期間内に交換された欠陥部品は、すべて Royal Enfield の専有財産となります。
5. この保証は、製造上の欠陥がある純正部品の修理または交換に明示的に限定されており、保証の唯一の救済手段となります。
6. 適用法によって許容される最大限の範囲において、明示的または黙示的を問わず、その他のあらゆる保証は拒否します。ここで言及されている黙示的保証の除外は、いかなる適用法によっても禁止されている範囲では適用されません。
7. 保証は以下の場合には適用されません：
   (a) 修理 / 交換中に使用されるオイル、オイルフィルター、ブレーキフルード、クーラント、燃料、グリースなどの消耗品は保証の対象外であり、これらの消耗品はお客様の負担となります。

一般保証規約

(b)お客様は、製品の修理またはその交換部品から生じる、または交換部品の取り付けから生じるすべてのリスクと責任を負います。保証期間中のいずれかの時点で、製品またはその一部が、ある人物もしくは当社によって許可されていない人物によって、取り外し、変更、改ざん、調整、修正、分解、修理、または何らかの方法で取り扱われた場合、本規定は直ちに有効性を失い、最初から無効となり、何ら効力を持たないものとなります。

(c)メッキ部品、塗装、ゴム部品、軟質部品、ガラス部品、プラスチック部品などの通常の経年劣化（摩耗、損耗）、劣化、または錆。オイルフィルター、エアフィルターペーパーエレメント、コントロールケーブル、ブレーキシュー / ブレーキパッド、クラッチプレート、ドライブチェーン&スプロケットキット、ステアリングボールレース、電気機器、配線ハーネスなど、通常の摩耗や損耗を受けるコンポーネント。推奨グレード以外の潤滑油、クーラント、ブレーキフルード、フォークオイル、燃料の使用、または不適切な量を使用したことにより発生した故障。

(d)純正の部品またはアクセサリー以外の使用、適切なメンテナンスの欠如、誤った運転習慣による損傷。車両の性能に影響を与えるような改ざんによるエンジン管理システム部品（ECU、スロットルボディ、センサーなど）の損傷。事故、衝突、放置、不正使用、誤った取り扱い、火災、天災などにより損傷した部品。

(e)軽微な振動、オイル漏れ、排気管の曲がりやキャタライザー部 / サイレンサー / ソフトまたはハードショックアブソーバーの変色など、車両の品質や機能に影響がないと認められる異常。

(f)排気管とサイレンサーの変色。これは、使用中に自然に起こる現象です。

(g)サイドカー、トレーラーヒッチなどの承認されていないアクセサリーや部品、または追加の電気負荷の取り付けによって生じた欠陥または損傷。

(h)非認定サービスセンターで整備または修理された車両。

(i)車両は、競技 / レース / ステージラリー / スタント / ジャンプ / アクロバットなどの用途、またはそれに類する使用を目的として設計・製造されていません。

(j)アーク溶接修理による、電球、ヒューズなどの電気部品、ECU などの電子部品の故障。

(k)フレームのいずれかの部分に改造 / 穴あけ / 溶接の跡がある車両。

(l)ブレーキの調整、燃料システムの清掃、エンジン調整などの通常のメンテナンス作業。

(m)バフ研磨 / 塗装 / 粉体塗装品などの酸化。

(n)戦争行為、天災または地震、ハリケーン、竜巻、洪水、火災などの自然災害、暴動、テロなど、あらゆる不可抗力事由によって生じた損害。

(o)車両または部品の不適切な組み立て、メンテナンス、保管または使用によって生じた損傷、故障または損失。

一般保証規約

8. Royal Enfield の正規部品およびアクセサリー（該当する場合）のみを使用してください。他社製のパフォーマンスパーツを使用すると、車両の保証が無効になります。
9. 以下の場合、保証は無効となります：
   (a) 車両がレクリエーションや交通以外の目的で使用される場合、または
   (b) 車両が何らかの方法で改造されている場合、または
   (c) シリアル番号 / 識別コードが削除、汚損、変更、消滅、または除去されている場合。
10. 以下の場合は、本保証の条件および規定から明示的に除外されます：
   (a) この保証に基づいて交換部品を取り付けるための人件費（保証の対象となる純正部品またはアクセサリーが Royal Enfield 正規販売店によって取り付けられた場合を除く）。
   (b) RE 車両モデル用に設計または推奨されていない RE アクセサリーを改造した、またはこれを RE 車両モデルに取り付けた場合。
11. Royal Enfield は、すべての保証請求について最終決定する権利を留保します。
12. RE は、車両モデルの設計を変更する権利を留保しており、すでに販売した車両にこれらの変更を適用する義務は負いません。

一般保証規約

13. 車両、車両部品および規定のアクセサリーの購入、車両のメンテナンス、保証期間中の適用可能な保証請求の結果、Royal Enfield は、お客様、またはお客様に関連する第三者（配偶者、家族、親戚など）に関する機密データおよび / または個人データを入手することがあります。このようなデータはお客様から、または他の情報源から入手する場合があり、一部の機密データや個人データは、Royal Enfield の内部セキュリティシステムまたはその他の手段によって、直接的または間接的に記録される場合があります。Royal Enfield は、関連性のある限定的な目的のためにそのようなデータを処理することがあります。この点に関して、お客様は以下に明示的に同意するものとします：

(a) Royal Enfield が、お客様、またはお客様に関連する第三者に関する機密の個人データおよび情報を処理すること。

(b) 限定された目的のためにお客様に関する機密の個人データおよび情報を収集・処理すること。

(c) Royal Enfield が保有する、お客様、またはお客様と関係のある第三者に関する機密の個人データおよび情報を、Royal Enfield の全世界の組織におけるサービスプロバイダー、販売店、サプライヤー、アドバイザー、オフィス、および通常の業務過程または法律により第三者への開示が求められる場合は第三者対して、世界規模で転送すること。また、マーケティング資料、ビデオなどでお客様の個人画像および音声を使用すること。

一般保証規約

上記 13 項で明示された同意を撤回したい場合は、メールアドレス support@royalenfield.com にメールを送信することに同意するものとします。メールにて同意を撤回したい旨をご連絡いただくと、これに応じて、RE は適用法に従い、妥当な期間内に RE の記録から入手可能なお客様に関するすべての機密データおよび / または個人データを削除します。

14. 本保証の違反に対する唯一の救済手段は、Royal Enfield の選択により、欠陥のある材料、部品、または製品の修理または交換となります。本保証に規定されている救済手段は、本保証に違反した場合に誰でも利用できる唯一の救済手段です。RE は、明示的または黙示的な保証、その他の契約、過失、その他の不法行為などから生じたかどうかにかかわらず、いかなる種類の付随的損害、結果的損害または特別損害について、いかなる人物に対しても責任を負いません。この結果的損害、付随的損害および特別損害の除外は、排他的救済手段がその本質的目的を果たせないという判定とは関係なく、また、その判定が下されても存続するものとします。
15. 保証の免責： ここで明示的になされた保証を除き、RE は、事実上または法律、法令またはその他の方法により、明示的または黙示的な保証または表明を一切行いません。
16. 一般保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの裁判所の専属管轄権および裁判地に同意するものとします。

ボーダーレス保証規約

RE ボーダーレス保証（個人輸入により国外へ輸出された車両には適用されません）には以下の条件が適用されます。



1. 運転者は、Royal Enfield 正規販売店で確認するために、メンテナンスおよび整備の記録、所有権の証明、および車両登録書類（原本 / コピー / ソフトコピー）を携帯する必要があります。
2. 定期メンテナンスサービスは、取り扱い説明書のスケジュールに従って、それぞれの期間 / 走行距離の範囲内で Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターにて受けられます。
3. Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターの義務は、検査の結果、部品に製造上の欠陥があると判断された場合にのみ、車両の純正部品を無料で修理 / 交換することに限定されます。交換された欠陥部品は、適切な検証後、Royal Enfield の独占所有物となります。
4. 運転者は、Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターまで、費用を負担しかつ自ら手段を手配して、車両の輸送を行うものとします。

ボーダーレス保証規約

5. Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターは、可能な限り最適なタイミングで車両をお届けできるよう努めます。しかし、該当する国で必要とされる排出ガス規制や国固有の認証スペアパーツの在庫状況により、整備時間 / 期間が通常より長くなる / 延長される場合があります。
6. Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターは、フォグランプ、高出力ランプ、市販のホーン、携帯電話充電器、ナビゲーターなどの電気部品または電子部品を含む非純正スペアパーツおよびアクセサリーの分解、再組み立て、または取り外しと再取り付けに最大限の注意を払います。ただし、Royal Enfield 正規販売店工場 / サービスセンターは、車両の整備 / 修理中に非純正スペアパーツおよび / またはアクセサリーを取り付けるための特別なツール / スキルなどが利用できないことによる破損 / 損傷 / 故障 / 再装着不能について責任を負わないものとします。
7. RE も、Royal Enfield 正規販売店および / またはその販売代理店も、車両の整備 / 修理の遅れによる時間 / 金銭の損失を含むいかなる損失についても責任を負わず、そのような場合の宿泊、その後の移動などの手配は運転者自身の責任となります。
8. 車両を修理のために別の工場に牽引する必要がある場合、または運転者の自国まで返送する必要がある場合、運転者自身の費用とリスクにおいて行われるものとします。
9. 残りの規約は一般保証の場合と同様となります。
10. ボーダーレス保証はインドの法律に準拠するものとし、お客様はインドのニューデリーの裁判所の専属管轄権および裁判地に同意するものとします。

最新の認定サービスネットワークについては、https://www.royalenfield.com/in/en/locate-us/service-centres をご覧ください。海外旅行中に、Royal Enfield 正規販売店から保証に関するサポートやアドバイスが必要な場合は、www.royalenfield.com/borderless-warranty/ にアクセスして詳細をご覧ください。

お客様の責任

1. お客様は、問題が明らかになった時点で直ちに、さらなる損害を防止するために可能なあらゆる措置を講じ、そのような損害から妥当な時間内に、Royal Enfield 正規販売店 / サービスセンターにその損害について通知するものとします。
2. RE が製造した車両を購入することにより、お客様は車両の保有、所有、使用、輸送に関して適用される法律および国際法をすべて確認し、遵守する責任を負うことになります。お客様は、適用法に反した車両の購入、所有、輸送、使用から直接的または間接的に生じるすべての請求について、RE を免責し、保護することに明示的に同意します。RE は正規販売店 / 販売代理店から購入した車両の誤使用について責任を負いません。

責任の制限

本規定の中に相反する内容がある場合でも、本保証に基づく Royal Enfield の責任は、Royal Enfield の単独の裁量により、欠陥のある車両の修理に限定されます。いかなる場合でも、Royal Enfield は、車両の使用から生じる間接的、特別、結果的、偶発的な損害、人身への傷害または物的損傷、時間の損失、商業上の損失、不都合、またはその他の偶発的、懲罰的、結果的な損失に対して責任を負わないものとします。

排出ガス制御システムの保証

Royal Enfield は、車両が置かれていた通常の使用状況において、車両のガス状汚染物質の排出に影響を与える可能性のあるコンポーネントに以下の保証が適用されることを証明します。

この排出ガス保証は、最初のお客様に対する初度登録日から 30,000km/3年間のいずれか早い方まで有効であり、取扱説明書に規定されている保証規定、条件、義務に加えて、それらと並行するものです。

さらに、Royal Enfield は、Royal Enfield 認定サービスセンターによる検査で車両が指定された排出ガス基準を満たしていない場合、認定サービスセンターが必要な是正措置を講じ、独自の裁量で排出ガス制御システムのコンポーネントを無料で修理または交換し、必要な排出ガス基準を満たすことを保証します。

排出保証関連コンポーネントの保証条件を決定するための検査方法は、Royal Enfield および / または当社認定サービスセンターの独自の裁量により決定され、当該検査の結果は最終的かつ拘束力を持つものとなります。検査の結果、部品の保証条件が確立されていない場合、Royal Enfield は部品の費用に加えて、検査費用の全部または一部をお客様に請求する権利を有します。

コンポーネントが排出ガス保証の対象であると認められた場合、Royal Enfield は必要に応じてコンポーネントを無料で交換します。ただし、燃料、潤滑油、溶剤などの消耗品については、実際の金額に応じてお客様に請求されます。

排出ガス制御システムの保証

排出ガス保証の対象となるコンポーネントまたは関連部品のいずれかが単独で交換できない場合、Royal Enfield は適切な修理を通じてアセンブリ全体またはアセンブリの一部を交換する独自の裁量を有します。

Royal Enfield は、排出基準を遵守するために、排出ガス保証の対象となるコンポーネントを修理または交換するのに加えて、車両に必要な付随的修理を実施したり、部品を交換する権利を留保します。こうした修理 / 交換はお客様に費用負担を請求することができます。

保証に基づいて交換するために取り外されたすべての部品は、Royal Enfield の所有物となります。

Royal Enfield は、最寄りの認定サービスセンターまでの車両の輸送費用、または Royal Enfield および / または認定サービスセンターによる検査および修理期間中に車両が利用できないことによる損失については責任を負いません。

Royal Enfield は、現状の排出基準を遵守できなかったために法定当局から課せられうる罰金については一切責任を負いません。

車両の排出ガス検査にかかる費用はお客様のご負担となります。

排出ガス保証は、車両の所有権の変更に関係なく、車両の初度登録日から本書に規定されているすべての条件が満たされている限り適用されます。

排出ガス制御システムの保証

以下の場合、本保証が適用されます

- 取扱説明書に記載されているすべての重要な指示とその他の注意事項を遵守している。
- いかなる状況でも、Royal Enfield が推奨する潤滑油と燃料を使用している。
- Royal Enfield のガイドラインに従って定期的にメンテナンスを実施し、その詳細を記録簿に記入している。
- 取扱説明書の指示に従って車両を整備、使用し、排出ガス基準に適合するために必要な修理や調整を行ったにもかかわらず、排出ガス基準に適合していないことが判明した場合に、直ちに最寄りの RE 正規販売店 / サービスセンターに連絡している。
- 排出ガス保証を請求するのに、有効な排出ガス規制適合証明書を発行している。
- 検証の詳細を記載した取扱説明書と記録簿を作成している。
- 車両の購入日から取扱説明書に記載されている車両のメンテナンス費用を記載している領収書を発行している。
- 有効な保険証明書および自動車検査証（車検証）を発行している。

排出ガス制御システムの保証

以下の場合には、排出ガス保証は適用されません

- 有効な「排出ガス規制適合証明書」が発行されていない。
- メンテナンスチャートに記載されている整備スケジュールに従ってRE正規販売店/サービスセンターによって車両が整備されていない。
- 車両が異常な使用、乱用、放置されていた、不適切なメンテナンスを受けた、もしくは事故に遭った。
- Royal Enfield が指定・承認していない交換部品が使用されている。
- 車両またはその部品が、承認されていない方法で改造、改ざん、変更、または交換されている。
- オドメーターが機能していないか、オドメーターおよび / またはその表示が変更または改ざんされていて、実際の走行距離を簡単に判定できない。
- 車両が、競技、レース、ラリー、あるいは記録樹立の目的で使用されていた。
- Royal Enfieldまたはその正規販売店/サービスセンターによる検査で、車両の使用およびメンテナンスに関する取扱説明書に規定されている条件のいずれかに違反していることが判明した場合。
- 取扱説明書または車両の販売時にお客様に提供されたその他の文書でRoyal Enfieldによって指定されたもの以外の、不純物が混入した / 鉛が入った燃料または潤滑油を使用して車両を走行させた場合。

排出ガス制御システムの保証

- 排出ガス関連部品が改ざんされている。
- 排出ガス保証期間中に発生した整備および部品に関する請求書や領収書が発行されていない。
- 排出ガス保証期間中に車両に対して行われたメンテナンス作業が記録簿に記録されていない。

法律を守るためのヒント

- 必ず正規の排出ガス検査機関で、車両が排出ガス規制に適合しているか点検を受けてください。
- 法律で定められている場合、有効な「排出ガス規制適合証明書」を常に携行してください。

汚染を減らすためのヒント

- 取扱説明書に記載されているとおり、Royal Enfield 認定サービスセンターを通じて定期メンテナンスが実施されていることを確認してください。
- 信頼できるガソリンスタンドで購入した、無鉛ガソリン（オクタン価 91 以上）のみを使用してください。
- 使用する燃料が不純物を含んでいないことを確認してください。
- 取扱説明書に推奨されている正しいスパークプラグを使用してください。
- 取扱説明書に記載されているグレード / ブランドの推奨事項に従って潤滑剤を使用してください。

燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証

以下の保証は、燃料蒸発ガス排出抑止装置に適用されます。
Royal Enfield Motors は、最初の所有者およびその後の各所有者に対して、この車両が販売時点で、燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証に指定された適用規制に準拠するように設計および製造されていることを保証します。この車両に取り付けられた関連部品には、車両の初回使用日から 24 か月間、この車両が適用規制を満たさなくなる原因となるような材料および製造上の欠陥はありません。
保証期間は、車両が最初の小売購入者に納品された日、または車両がデモ車、展示用車両および / 試乗車として使用された最初の日から開始されます。

燃料蒸発ガス排出抑止装置の保証対象外となるもの

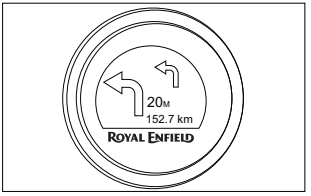
1. 取扱説明書に記載されているように、誤用、改造、事故、または定期メンテナンスの不履行の結果として発生する可能性のある故障。
2. 燃料蒸発ガス排出抑止装置（燃料タンク、燃料タンクキャップ、キャニスター、パージバルブ、スロットルボディ、蒸気ホース、燃料ホース、ホースコネクターを含む）の一部を Royal Enfield に認定されていない部品と交換、取り外し、または変更すること。
3. 時間の損失、不便、車両の使用不能、またはその他の結果的な損失や損害。
4. オドメーターが改ざんされているか、スピードメーターケーブルが何らかの理由で切断されているか、壊れた状態で直ちに交換されなかったため、正確な走行距離を確定できない車両。
5. 燃料ホース、蒸気ホース、ガスケット、ゴム部品など、部品における通常の経年劣化。

必要なメンテナンスに関する推奨事項

車両の定期メンテナンスは指定された間隔で実行することをお勧めします。また、燃料蒸発ガス排出抑止装置のメンテナンスは、Royal Enfield 認定サービスセンターで、純正の Royal Enfield スペアパーツのみを使用して実施する必要があります。

無線型式認証

トリッパー/ナビゲーションディスプレイユニット



JAPAN

R 201-210459

整備 /メンテナンス記録

シリアル番号	整備内容	スケジュール	日付	ジョブカード番号	km	販売店コード	整備の概要

配線図

免責事項

配線回路の修理やその他の電気系統の手直しは、Royal Enfield 認定サービスセンターでのみ行うことをお勧めします。これを守らない場合、電気系統に損傷を与えるおそれがあり、製品保証が無効となる場合があります。



注記

ROYAL ENFIELD

ROYALENFIELD.COM

Part No. RAM01559/A

Edition: 18th May 2026